

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ典拠	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
カミ シロク 加賀美 子麓	男	1912 1992	甲府市	甲府市	『山梨県人物・人材情報リスト 2023』	文学	俳人。 本名、加賀美一三男。 高浜虚子に師事。「万緑」に参加。 俳誌「麓」を主宰。 1983年、山梨県文化功労章。 1989年、勲五等瑞宝章。 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』)	『雪は空から降ってくる』(牧羊社、 1978) 『火度』(牧羊社、1987) 『目鼻口』(牧羊社、1993)	『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日 外アソシエーツ、2022、p115、326) 『山梨日日新聞』(1992.10.15、23面、顔 写真あり、1999.12.18、11面、顔写真あり)	2024/9/13	甲府
カワ ミノオ 佳川 文乃緒	女	1940 	韮崎市	韮崎市	『山梨県人物・人材情報リスト 2013』 『ドキュメント離婚』	文学	作家。 本名：小澤嘉子 全国妻のSOS会会長 日本文芸家協会、日本ペンクラブ会員 (『山梨県人物・人材情報リスト2011』) 『わたしの落穂たちよ』で小学館「教師 の記録」最優秀賞。 (『おんなたちの戦国史』)	『魯山人と影の名工』(オスカーアート、 1990) 『ドキュメント離婚』(光書房、1992)	『山梨県人物・人材リスト2013』(日外ア ソシエーツ、2012、p329) 『ドキュメント離婚』(光書房、1992、奥 付) 『おんなたちの戦国史』(ぶんか社 2006、P254)	2024/9/13	甲府
カク ワカ 覚 和歌子	女	1961 	山梨市	山梨市	『青天白日』 『山梨日日新聞』 『山梨県人物・人材情報リスト 2023』	芸術・ス ポーツ	作詞家。詩作朗読家。 映画「千と千尋の神隠し」主題歌「いつ も何度でも」作詞、2001年日本レコード 大賞金賞受賞。 (『青天白日』) 『星つむぎの歌』プロジェクト監修 (『山梨日日新聞』) 本名：細田博子、別名蓮田ひろか (『山梨県人物・人材情報リスト2023』)	『ゼロになるからだ』(徳間書店スタジ オジブリ事業本部、2002) 『青天白日』(晶文社、2004) 『海のような大人になる』(理論社、 2007) 『ねえ』(谷川俊太郎・覚和歌子文、さと うあきら写真、フレーベル館、2008) 『星つむぎの歌』(響文社、2009) 『はじまりはひとつのことば』(港の人、 2016) 『2馬力』(谷川俊太郎・覚和歌子著、ナ ナロク社、2017) 『覚和歌子詩集』(角川春樹事務所、 2023) 『かっぱ語録』(能書き、角川春樹事務 所、2024) 下山小学校校歌作詞 身延清稜小学校校歌作詞 身延小学校校歌「羽と緑と光る呼吸」作 詞 伊藤学園甲斐清和高校校歌「太陽の旅 路」作詞 ほか	『山梨日日新聞』(2001.8.10、9面、 2003.5.28、12面、2005.3.20、5面、 2007.5.16、16面、2010.12.2、20面、 2012.4.14、22面、2018.4.6、22面いづれ も顔写真有り) 『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日 外アソシエーツ、2023、p326) 『覚和歌子詩集』(角川春樹事務所、 2023、p210-217に年譜あり)	2024/9/10	県立

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
カサイ シュウジ 笠井 重治	男	1886 1985	西島村	身延町	『山梨百科事典』 『笠井重治追悼録』	社会科学	甲府中学卒業後、1903年渡米、シカゴ大、ハーバード大大学院に学ぶ。 1913年6月、シカゴ大学学内弁論大会に優勝。 1936年から衆議院議員当選3回。 戦前から国際労働会議、列国議会同盟会議等の国際会議に出席、終生日米文化振興会会長を務める。 1960年マイアミ、1963年サンフランシスコ名誉市民賞。1966年、正五位勲二等瑞宝章叙勲。逝去後、従四位に叙さる。 (『山梨百科事典』『笠井重治追悼録』)	『満洲国皇帝陛下を奉迎して』(日満中央協会、1935) 『アブラハム・リンカン略伝』(日米文化振興会、1948) 『TheNewUs—JapanEra(日米新時代)』(日米文化振興会、1976) 『笠井重治弁論集』(日米文化振興会、1980) 『太平洋の支配』(日米文化振興会、1987) 『甲州倶楽部』1955年9月1日号(謙光社山梨協会、1955、p9~) 『ニクソン米副大統領訪ソの影響』(「政界往来」、政界往来社、1959年10月号)ほか	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1972、p205) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2011、p99) 『笠井重治追悼録』(笠井盛男、1987、巻頭に写真・年譜あり) 『検証・憲法第九条の誕生』(岩田行雄、2004、p85~87) 『西嶋が生んだ偉人笠井重治』(望月國男著、国際文献社、2020) 『天皇を救った男笠井重治』七尾和晃著、東洋経済新報社、2019) 「ある日本人に届いた周恩来からの『礼状』を追う」(「週刊朝日」、朝日新聞社、2007.10.12号、p33) 「山梨日日新聞」(1916.11.28/1面、1966.4.29/1面、1995.9.30/3面、2019.6.5/12面) 「世論新聞」(1985.5.21、1面、追悼記事) 「読売新聞」(2022.8.19/23面 “ブドウ平和の橋渡しに”)	2024/11/30	身延
カサイ タカミ 笠井 忠文	男	1928 2021	甲府市	甲府市	『川治いの道を』 『山梨県人物・人材情報リスト2023』	文学 自然科学・医学	内科医院を営む傍ら、山梨県の中心的詩誌「乾季」を発行。山梨詩壇の発展に尽くした。 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』) 日本現代詩人会・日本ベンクラブ会員 詩誌「人間」「乾季」同人 (『川治いの道を』) 1993~95年と、2006~07年に県詩人会会長を務めた。山人会副会長、山日文芸・月間詩壇選者を歴任した。 (『山梨県日日新聞』)	『銀色の蝶』(宇宙社、1989) 『寒い春』(乾季詩社、2007) 『川治いの道を』(乾季詩社、2011)	『銀色の蝶』(宇宙社、1989) 『山梨日日新聞』(2007.11.16、13面) (2021.1.5、21面) 『川治いの道を』(乾季詩社、2011) 『追悼笠井忠文』(南アルプス笠井忠文追悼誌編集委員会、2021、p5顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日外アソシエーツ、2022、p326、488) 『文学と歴史 第79号 笠井忠文追悼号』(文学と歴史の会、2022)	2024/9/13	甲府
カサイ トウタ 笠井 東太	男	1905 1969	西島村	身延町	『西島の今昔』 『中富町誌』	技術	身延高校教諭を退職後、家業の和紙販売業のかたわら公民館長、文化財審議委員を務める。郷土の特産西島和紙の歴史を研究し、村方文献を整理保存し、実証的研究をまとめた。 (『中富町誌』)	『西島和紙の研究』(西島手漉紙工業共同組合、1957) 『西島紙の歴史』(西島手漉紙工業共同組合、1957) 『紙すき日限』(「峡南の郷土」第1集、峡南郷土研究会、1967、p15~18)	『西島の今昔』(深沢喜一、1970、p113) 『中富町誌』(中富町誌編集委員会、1971、p1036)	2024/11/30	身延

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
カサイ トヨタウ 河西 豊太郎	男	1874 1959	十日市場村	南アルプス市	『郷土史にかがやく人々集合編Ⅱ』 『山梨百科事典』 『図説韭崎・巨摩の歴史』	社会科学	電力と鉄道事業を中心に多数会社の社長・重役として活躍。 根津美術館の理事長・館長。詩文や絵を発表。 (『山梨百科事典』) 収集した美術品は、屋敷地の嘯月美術館において公開していたとの記述あり。 (『図説韭崎・巨摩の歴史』)		『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1972、p159) 『若草町誌』(若草町誌編集委員会、若草町、1990、p469、顔写真あり) 『河西豊太郎』(村松志孝共編、河西俊夫、1960) 『甲州財閥物語下』(斉藤芳弘著、テレビ山梨、1976、p214～227) 『郷土史にかがやく人々集合編Ⅱ』(青少年のための山梨県民会議、1980、p207～223) 「ランデブー」12号(コミヤマ工業、2002、p4～13) 『図説韭崎・巨摩の歴史』(郷土出版社、2000、p209、顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p6、p106) 「山梨日日新聞」(2018.10.24、18面)	2024/10/30	わかくさ
カサイ ナンソウ 笠井 南村	男	1911 1982	西島村	身延町	『山梨漢詩』 『山梨漢詩人列伝』 『中富町誌』	芸術・スポーツ	本名、笠井輝男。 上京後、土屋竹雨に師事。漢詩誌『東華』に参加。母校で中国文学科教授を勤める。 1951年、長野・山梨で教職に就く。地元書道会や高校書道の指導を行う。 1958年、新漢詩誌『言永』創刊。 1971年、山梨学院大学教授。 2005年、山梨漢詩会に南村賞が設立される。 (『山梨漢詩』)	『漢詩の味』(新星書房、1975) 『抱樸集』(新星書房、1982) 『渭樹江雲』(漢詩人社、1982) 『笠井南村詩鈔』(1996)	『中富町誌』(中富町誌編集委員会、1971、p1032、p1038) 『西島の今昔』(深沢喜一著、1970、p137) 「山梨の漢詩人その1」(『山梨漢詩』第4号、内藤利信、2003、p245) 「山梨漢詩」(内藤利信、2004、第5号、p271) 『山梨県史通史編6近現代2』(山梨県、2006、p940) 『山梨漢詩人列伝』(山梨漢詩会、2008、p291) 「山梨日日新聞」(2000.7.5/14面)	2024/11/30	身延
カサイ ヒテン 河西 秀史	男	1947 	昭和町	昭和町	『昭和物語河西秀史写真集』	芸術・スポーツ	写真家。 会社役員。	『故郷河西秀史写真集』(河西秀史、1998) 『昭和物語河西秀史写真集』(河西秀史、2010)	『故郷河西秀史写真集』(河西秀史、1998) 『昭和物語河西秀史写真集』(河西秀史、2010)	2024/9/14	昭和
カサイ マサエ 河西 昌枝	女	1933 2013	甲西町	南アルプス市	『甲西町新聞』 『山梨日日新聞』	芸術・スポーツ	スポーツ選手(日紡貝塚)。 東京オリンピック女子バレーボール金メダリスト(主将)。(『甲西町新聞』) 世界バレーボール殿堂入り。(『山梨日日新聞』)	『バレーにかけた青春』(講談社、1965) 『思い出の回転レシーブ』(講談社、1965) 『お母さんの金メダル』(学研、1992)	『甲西町新聞』(1964.2.20、第44号) 「山梨日日新聞」(2008.10.26、22面、顔写真あり) 「山梨日日新聞」(2013.10.4、22面、顔写真あり)	2024/11/21	甲西

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
カザマ シンジ 風間 深志	男	1950 	山梨市	山梨市	『山梨県人物・人材情報リスト 2017』	芸術・スポ ーツ	冒険ライダー。 風魔プラス1オーナー。 地球元気村事務局長。 (『山梨県人物・人材情報リスト2017』)	『風のように、少年のように』(OBS・ソ ニー出版、1988、山梨県立図書館ほか 所蔵) 『地平線への旅』(文芸春秋、1989) 『2DKと大自然』(大和出版、1991、山梨 県立図書館ほか所蔵) 『キャンプ術』(旬報社、2001) 『10万回のキャスティング』(インフォレス ト、2002、山梨県立図書館ほか所蔵) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2017』(日 外アソシエーツ、2016、p523)	2024/11/24	山梨
カシタ ノリコ 梶田 典代	女	1924 	富士見村	笛吹市	『山梨県人物・人材情報リスト 2013』 『十四歳・旅立ちのとき』 『嵐吹きすさぶとき』	文学	児童文学作家。 日本児童文学者協会会員。 富士見中学校・小学校教諭を経て、東 京大学に国内留学し、教育学を専攻。 のち大月東小学校教諭、東京都公立小 学校の『教師を務め、1983年に教員を 退職。 (『山梨県人物・人材情報リスト2013』)	『十四歳・旅立ちのとき』(けやき書房、 2000) 『嵐吹きすさぶとき』(けやき書房、 2003)	『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日 外アソシエーツ、2012、p330) 『十四歳・旅立ちのとき』(けやき書房、 2000、奥付) 『嵐吹きすさぶとき』(けやき書房、 2003、奥付)	2024/9/13	甲府
カシワキ ハク 柏木 白雨	男	1901 1977	富士吉田市	富士吉田市	『富士北麓と文人たち』	文学	歌人。本名芳節。1901年南都留郡明見 村(現富士吉田市大明見)に生まれる。 1937年、「ホトギス」入会。翌年、「ホト ギス」に初めて句が掲載。1940年、山 中湖滞在中の高浜虚子を訪ね、新蕎麦 会結成に参加し、指導を受ける。1958 年、富士吉田市議会議員当選。1961 年、第1回富士吉田市文化功労者表 彰。富士吉田ロータリークラブ入会。 1964年から1965年にかけて、作品が甲 斐産業新聞に掲載。1974年正岡子規 「やまめの歌」歌碑を桂川畔に建立。 1975年若葉功労者表彰。1976年山梨 県文化功労賞。	『緑節句集』(柏木白雨、1953、山梨県 立図書館所蔵) 『続・声 随筆集』(柏木芳節、1973、山梨 県立図書館所蔵) 『白雨句集』(若葉社、1977)	『富士北麓と文人たち』(ぎょうせい、 1986、p214~229)	2024/12/27	富士吉田
カシワラ ヒロシ 梶原 等	男	1948 	河口湖町	富士河口湖町	『梶原景時知られざる鎌倉本體 の武士』)	社会科学	1970年司法試験合格。 1971年中央大学法学部法律学科卒 業。 1973年～弁護士登録。 弁護士業務のかたわら、梶原景時に 関連する中世史を調査研究。 (『梶原景時知られざる鎌倉本體の武 士』)	『梶原景時知られざる鎌倉本體の武士』 (新人物往来社、2004)	『梶原景時知られざる鎌倉本體の武士』 (新人物往来社、2004、奥付)	2024/12/28	富士河口湖
カスノ カズオ 数野 和夫	男	1930 	甲府市	甲府市	『山梨県人物・人材情報リスト 2013』 『石の華』	文学	小説家。 昭和44年、『驟雨』で山梨県芸術祭脚本 部門芸術祭賞を受賞。 平成11年、『舞扇』で中村屋湖賞を受 賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2013』) 1974年、「山梨日日新聞」に長編小説 「治承ノ賦」を連載。 「中部文学」「亜朱花」同人。 (『石の華』)	『石の華』(甲陽書房、1985) 『舞扇』(甲陽書房、1998) 『武士の鬘』(叢文社、2002) 『風狂の人』(文芸社、2008)	『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日 外アソシエーツ、2012、p330) 『石の華』(奥付に著者略歴、顔写真あ り) 『山梨日日新聞』(1999.09.28、11面顔 写真あり)	2024/9/13	甲府

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
カタカ ミサホ 片岡 みさほ	女	1934 	山梨県	山梨県	『みさほのふれあい散歩』	歴史・地理・社会科学	元小学校教諭 (『みさほのふれあい散歩』)	『みさほのふれあい散歩』(片岡みさほ、2001) 『合歓の花』(片岡弥一、2004)	山梨日日新聞(1999.4.16、16面) 山梨日日新聞(2000.4.24、9面) 『みさほのふれあい散歩』(片岡みさほ、2001) 山梨日日新聞(2001.5.25、20面) 山梨日日新聞(2003.4.7、9面)	2024/11/1	双葉
カタタ ヨシミツ 片田 義光	男	1926 2014	身延町	身延町	『山梨県人物・人材情報リスト2015』 『竹炭をやく生かす伸ばす』 『山梨日日新聞』	社会科学 技術	山梨県議(社会党) 元身延竹炭企業組合理事長 1975年より5期山梨県会議員を勤める。 1990年、竹炭研究会発足。 1999年、身延竹炭企業組合設立。同理事長を務める。 1998年、駐日大使訪問を契機にラオスと交流。 1999年、勲四等瑞宝章。 2010年、県中小企業団体中央会会長特別表彰。 2014年、従五位旭日単光賞。 (『竹炭をやく生かす伸ばす』、 『山梨県人物・人材情報リスト2015』 『山梨日日新聞』)	『竹炭をやく生かす伸ばす』(創森社、2002)	『山梨県人物・人材情報リスト2015』(日外アソシエーツ、2014、p53) 『竹炭をやく生かす伸ばす』(創森社、2002、奥付) 『国民生活白書平成16年版』(内閣府、2004、p48) 『山梨日日新聞』 (1989.11.15/2面、1993.3.6/7面、8.9/5面、1995.1.5./9面、1996.1.5/5面、1999.4.29/3面、2000.2.26/20面、2003.3.4/16面、2004.4.16/19面、6.29/6面、2005.6.28/20面、2009.9.1/1面、2010.1.13/16面、4.16/22面、11.11/6面、2011.10.28/22面、2012.6.18/17面) ＜ジモトロジー連載記事、(2013.1.28/15面、1.30/1面、2.1/1面、2.3/1-4面) (2014.1.13/19面、計報、1.21/14面『この道・追悼』、2.8/24面、12.30/8面、2014墓碑銘)他 『朝日新聞』(1998.10.15、「地域おこしの知恵貸しますタイで事例報告」) 『毎日新聞』(2001.9.422面)	2024/11/30	身延
カト カクヤ 勝 格弥	男	1851 1907	桃園村	南アルプス市	『山梨百科事典』	自然科学・医学	民権運動家 (『山梨百科事典』)		『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p165)	2024/11/12	楯形
カノウ タメオ 加藤 為夫	男	1923 2008	身延町	身延町	『富士川谷物語』 『郷土史にかがやく人々・集合編Ⅱ』 『兵営記』 『山梨日日新聞』	歴史・地理 社会科学	1943年、立正大学専門部・地理歴史科卒業。 身延高等学校ほか高校教諭を勤める。 『身延町誌』『郷土史指導資料』(県教育委員会編)執筆。 身延町文化財審議委員。郷土史研究者。詩同人「流域」に参加。中部文学同人。 (『富士川谷物語』、『郷土史にかがやく人々・集合編Ⅱ』)	『身延町誌』(身延町、1970、p158～) 『郷土史にかがやく人々・集合編Ⅱ』(青少年のための山梨県民会議、1980、p359～374) 『大工彫刻』(共著、INAX、1986、p73～77) 『富士川谷物語』(山梨日日新聞社、1987) 『下山大工史資料』(加藤美代子、2004) 『兵営記』(遠藤摩木夫、2012) 『下山大工』(「甲斐路」80号、1994、p112～113)	『富士川谷物語』(山梨日日新聞社、1987、奥付) 『郷土史にかがやく人々・集合編Ⅱ』(青少年のための山梨県民会議、1980、p374) 『山梨日日新聞』(2004.4.20/18面、2008.3.7/24面、2011.2.26/11面、2011.6.8/18面、2012.6.8/18面)	2024/11/30	身延

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ典拠	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
カナモリ ミチオ 金森 三千雄	男	1947 	大月市	大月市	『山梨県人物・人材情報リスト 2011』	文学	詩人、児童文学作家。 大学卒業後、児童図書の編集に携わる。 1985年詩「あの日」で現代少年詩集新人賞(奨励賞、第2回)受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2011』)	『少年』(金の星社、1972) 『森の小さな家』(金の星社、1987) 『くまのおいしやさん』(岩崎書店、1990) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日 外アソシエーツ、2010、p113) 『タヌキが教えた立て札』(雲雲社、 2000、著者紹介欄)	2024/11/26	大月
カネコ フミコ 金子 文子	女	1905 (1904) 1926	神奈川県	神奈川県	『山梨百科事典』 『山梨県人物・人材情報リスト 2017』	文学	アナキスト。 別名朴文子、金子活浪。 少女時代、山梨市(旧牧丘町袖口)や 丹波山村、朝鮮などを転々とする。 アナキズム系雑誌「不逞鮮人」「現社 会」などを発行。 1925年大逆罪で起訴、死刑を宣告され るも証拠不十分で無期に減刑。 1926年服役中の栃木刑務所で自殺。 (『山梨百科事典』、『山梨県人物・人材 情報リスト2017』)	『金子ふみ子獄中手記何がわたしをか うさせたか』(黒色戦線社、1972・1975筑 摩書房、1984春秋社、1998・2005) 『金子文子歌集』(黒色戦線社、1976) 『赤いつつじの花』(黒色戦線社、1984) 『獄窓に想う』(黒色戦線社、1987) 『金子文子わたしはわたし自身を生 きる』(梨の木舎、2006)	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p227) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図書、 1992、p211) 『金子文子』(山田昭次、影書房、1996) 『山梨の女性作家たち』(ふじざくらの 会、1997、p86) 『やまなし・女性の文学』(山梨県立文学 館、1999、p29) 『山梨学講座4 山梨の人と文化』(山梨 県生涯学習推進センター、2006、p168- 226) 『物語明治・大正を生きた女101人』 (KADOKAWA、2014、笛吹市立石和図 書館ほか所蔵) 『山梨県人物・人材情報リスト2017』(日 外アソシエーツ、2016、p426)	2024/11/24	山梨
カネマル シン 金丸 信	男	1914 1996	今諏訪村	南アルプス市	『わが体験的防衛論』 『金丸信・全人像』 『立ち技寝技』 『山梨日日新聞』	社会科学	太平醸造社長、甲府コンクリート社長、 日東工業社長、テレビ山梨代表取締役 役、山梨県消防協会副会長、白根町消 防団長、衆議院議員(自由民主党副総 裁・副総理) ほか (『山梨県人物・人材情報リスト2011』)	『わが体験的防衛論』(エール出版、 1979) 『人は城・人は人垣・人は堀』(エール出 版、1983) 『立ち技・寝技』(日本経済新聞社、 1988)	『金丸信・全人像』(鷲尾彰、行政問題 研究所、1984) 『行き過ぎれば刺し違える』(末木幸一 郎、ユニバース出版、1985) 『立ち技・寝技』(金丸信、日本経済新聞 社、1988) 『金丸信寝技師の研究』(中衛、東洋経 済新報社、1990) 『捨身の首領(ドン)金丸信』(大下英 治、徳間書店、1991)(山梨県立図書館 所蔵) 『金竹小の金と権力』(伊藤藤敏、日本 社会党機関紙局、1993) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日 外アソシエーツ、2018、p6) 『山梨日日新聞』(1996.3.29、14面)ほ か	2024/10/4	白根
カネマル トクシゲ 金丸 徳重	男	1990 1997	甲西町	南アルプス市	『南米の旅から』 『山梨日日新聞』	社会科学	政治家。 昭和26年山梨県副知事。 同33年以来衆議院議員に当選(4回)。 (『南米の旅から』)	『南米の旅から』(甲陽書房、1972) 『欧州ひとり旅』(生活の友社、1962) 『欧州ひとり旅続』(生活の友社、1969) 『欧米ひとり旅』(生活の友社、1962) 『山と谷のある道』(生活の友社、1957) 『私の国会報告』(生活の友社、1966) 『私の国会報告第2集』(生活の友社、 1969)	『南米の旅から』(甲陽書房、1972、 p209) 『山梨日日新聞』(1997.8.20、1面)	2024/11/21	甲西

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
カネマル ヘイスケ 金丸 平甫	男	1900 1993	白根町	南アルプス市	『山梨日日新聞』	歴史・地理	山梨県バス協会専務理事、山梨県陸運事務所長。 (『山梨日日新聞』)	『上今諏訪神社考』(金丸平甫、1978) (山梨県立図書館所蔵) 『探訪・白髭神社』(金丸平甫、1985)(山梨県立図書館所蔵)	『山梨日日新聞』(1993.5.22、21面)	2024/10/4	白根
カフト コロウ 甲 吾郎	男	1849 1925	藤田村	南アルプス市	『山梨百科事典』	芸術・スポーツ	郷土幕内力士 (『山梨百科事典』)		『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1972、p178) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p542)	2024/10/30	わかかさ
カシヨウ ジンノスケ 上條 甚之甫	男	1904 2004	上野原町	上野原市	『山梨県北都留郡上野原町方言集』	言語	歴史言語研究家 (『山梨県北都留郡上野原町方言集』)	『山梨県北都留郡上野原町方言集』 (稲垣正幸、2000)	『山梨県北都留郡上野原町方言集』(上條甚之甫、稲垣正幸、2000、p94)	2024/11/12	上野原
カシヨウ ハルオ 上條 晴夫	男	1957 	山梨県	山梨県	『山梨県人物・人材情報リスト2023』	社会科学	教育ライター、ディベートトレーナー。 山梨大学教育学部卒業。 小学校教師、児童ノンフィクション作家を経て、教育ライターとなる。東北福祉大学子ども科学部子ども教育学科教授 所属団体：日本語技術教育学会、日本シミュレーション&ゲーミング学会、全国教育ディベート連盟(常任理事) (『山梨県人物・人材情報リスト2023』) 東北福祉大学教授。研究分野は教師教育学、教育方法学、ワークショップ。担当教科は、教育学演習、国語科概論、国語科教材研究、国語科指導法、等。 『お笑い教師同盟』代表。(『東北福祉大学』JHP)	『見たこと作文でふしぎ発見』(学事出版、1990) 『中高生のためのやさしいディベート』(学事出版、1996) 『スラスラ書ける読書感想文』(永岡書店、2021) 『叱る技術』(学陽書房、2008) 『実践・教育技術リフレクションあすの授業が上手いく(ふりかえり)の技術1身体スキル』(合同出版、2017)	『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日外アソシエーツ、2022、p476) 『東北福祉大学』JHP https://www.tfu.ac.jp/ (2024.9.14確認) 『お笑い教師同盟』JHP https://owarai-kyousi.wixsite.com/home (2024.9.14確認)	2024/9/14	甲府
カミナガ マナブ 神永 学	男	1974 	山梨県	山梨県	『山梨県人物・人材情報リスト2023』 神永学オフィシャルサイト	文学	1974年生まれ。 白根高校、日本映画学校(現・日本映画大学)卒業。サラリーマンの傍ら書き上げたミステリー小説『赤い隻眼』で小説家デビュー。 『心霊探偵八雲』で注目を集める。以後、人気シリーズとなりテレビドラマ化、漫画化される。日本文芸家協会所属。 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』) 2020年6月に『心霊探偵八雲』シリーズ完結。 (『心霊探偵八雲COMPLETEFILES』)	『赤い隻眼』(文芸社、2003) 『心霊探偵八雲赤い瞳は知っている』(文芸社、2004) 『山猫』(文芸社、2006) 『殺生伝疾風の少年』(幻冬舎、2013) 『心霊探偵八雲COMPLETEFILES』(KADOKAWA、2020) 『新心霊探偵八雲』(講談社、2024) 『マガツキ』(東京 PHP研究所、2024)ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日外アソシエーツ、2022、p329) 『神永学オフィシャルサイト』 http://www.kaminagamanabu.com/ (2024.9.14確認) 『オフィス神永:x』 https://x.com/ykm_info?ref_src=twsrc%5Egoogle%7Ctwtcamp%5Eserp%7Ctwgr%5Eauthor (2024.10.8確認)	2024/9/14	甲府
カヤマ シゲコ 亀山 繁子	女	1934 	三重県	三重県	『薫風』	文学	1980年家庭児童相談員任命 2006年山梨県社会福祉協議会より表彰 (『薫風』)	『双葉』(亀山繁子、1990) 『薫風』(亀山繁子、2008)	『薫風』(亀山繁子2008、奥付)	2024/11/12	上野原

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
カヤマ アキラ 萱沼 明	男	1904 1980	富士吉田市	富士吉田市	『富士北麓と文人たち』	自然科学・ 医学 文学	眼科医、随筆家、名文家。1931年、東京医専(現・東京医大)を卒業、1933年、日赤中央病院眼科勤務。「眼科方言夜」刊。1936年、臼田巫浪を知り句作を始める。1946年、富士吉田市吉田萬聖閣跡に月江寺眼科診療室を開業。1959年、東京世田谷羽根木に戻り同地で眼科医院を経営。1971年から1973年にかけて随筆を出版。1981年に「富士山の北麓郷談々」(上下巻)刊。 (『富士北麓と文人たち』)	『眼のある随筆』(佐藤道亮、1971) 『眼のない眼の随筆』(竹井制作室、1976) 『富士山の北麓郷談々 上・下』(武井制作室、1981)	『富士北麓と文人たち』(ぎょうせい、1986、p108～118)	2024/12/27	富士吉田
カヤマ アヤコ 萱沼 文子	女	1958 1980	富士吉田市	富士吉田市	『山梨県人物・人材情報リスト2004』	芸術・ス ポーツ	体操インストラクター。 スタジオJAC代表取締役。 1981年、筑波大学体育専門群運動生理学専攻卒業。 1985年、スタジオJAC設立。 1995年よりダンベル体操指導協会(DELA)会長、1996年よりフィットネスリラクゼーション指導協会(FRA)会長を務める。 (『山梨県人物・人材情報リスト2004』)	『即効！1週間「部分やせ」エクササイズ』(PHP研究所、2004) 『寝たきりにならないシニアの基本ストレッチ』(PHP研究所、2006) 『「ハミ肉」ストレッチ』(PHP研究所、2006) 『しっかり伸びる！基本ストレッチ』(長野茂監修、日本文芸社、2008) 『かんたんストレッチ百科140』(長野茂監修、PHP研究所、2009) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2004』(日外アソシエーツ、2003、p112～113)	2024/12/27	富士吉田
カヤマ テイキ 萱沼 貞石	男	1901 1962	富士吉田市	富士吉田市	『富士北麓と文人たち』	芸術・ス ポーツ	書道家。 本名貞治。 1932年、旧東方書道会展に「竹取物語」を出品、かな部最高賞受賞。 1951年、「日本日本武尊望岳古跡の碑」「明見町水道碑」を書く。1957年、日経新聞に「左からみぎへ」と題し、左タテ書き論を発表。同年山之神社道祖神碑識。 (『富士北麓と文人たち』)		『富士北麓と文人たち』(ぎょうせい、1986、p80～91)	2024/12/27	富士吉田
カワイ シンスイ 川合 信水	男	1867 1962	小沼村	富士吉田市	『富士北麓と文人たち』	哲学・宗教 社会科学	宗教家、教育家。1890年キリスト教に入信して上京し、女学雑誌社に入社する。1895年、東北学院神学部卒。函館毎日新聞記者、前橋市共愛女学校長、郡是製糸教育総理等を歴任。1936年、山梨県不二山荘に移り、伝道生活をする。1960年、富士吉田市名誉市民となる。 (『山梨県人物・人材情報リスト2013』、 『富士北麓と文人たち』)	『耶穌基督讚』(尚文堂、1927) 『神の誠と吾が体験』(基督心宗教団本部出版部、1956) 『論語講義』(兄弟学舎、1964) 『ガラテヤ書玄義』(基督心宗教団事務局出版部、1965) 『山月川合信水先生論語教話』(基督心宗教団事務局出版部、1970) 『大人と小人』(基督心宗教団事務局出版部、1979)	『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2012、p445、466) 『富士北麓と文人たち』(ぎょうせい、1986、p250～266) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p240)	2024/12/27	富士吉田

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
カワカミ ケンイチ 川上 健一	男	1949 	青森県	青森県	『あのフェアウェイへ』	文学	1977年『跳べ、ジョー！B・Bの魂が見てるぞ』で第28回小説現代新人賞を受賞し、作家デビュー。 2001年『翼はいつまでも』で「本の雑誌」ベスト11に選ばれ、2002年第17回坪田譲治文学賞を受賞。 (『あのフェアウェイへ』) 1990年代に北社市に移住。(『朝ごはん』)	『跳べ、ジョー！B・Bの魂が見てるぞ』(集英社、1977) 『雨鱈の川』(集英社、1990) 『翼はいつまでも』(集英社、2001) 『4月になれば彼女は』(実業之日本社、2005) 『渾身』(集英社、2007) 『祭り囃子がきこえる』(集英社、2010) 『あのフェアウェイへ』(講談社、2011)ほか	『あのフェアウェイへ』(講談社、2011、奥付) 『朝ごはん』(山梨日日新聞社、2013、奥付)	2025/1/5	小淵沢
カワカミ センペイ 川上 善兵衛	男	1868 1944	新潟県	新潟県	『川上善兵衛伝』	産業	園芸、醸造家。 ワイン造りに最適なぶどう品種を開発した。 小沢善平に教えを受け、明治24年に洋種ぶどう苗木9種127株を栽培した。また明治25年秋には土屋龍憲の家に3カ月間滞在し、葡萄酒醸造を学んだ。高野積成、高野正誠とも交流をもった。 (『古書が伝えた甲州葡萄酒の歴史』)	『葡萄提要』(実業之日本社、1908) 『実験葡萄栽培書』(博文館、1899) 『実験葡萄全書上・中・下編』(西ケ原刊行会、1932～1933) 『明治農書全集』第7巻(農山漁村文化協会、1983)ほか	『日本のワイン』(早川書房、2003、p55・p197) 『川上善兵衛伝』(サントリー、1991) 『古書が伝えた甲州葡萄酒の歴史』(勝沼図書館、2007) 『伝えたいふるさとの100話』(地域活性化センター、2004、p74)『越後えびかずら維新: 日本ワイン葡萄の父』(小学館、2010) 『岩の原葡萄園ホームページ』 https://www.iwanohara.sgn.ne.jp/about/index.html (2024.10.31確認) 『上越市歴史博物館』 https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/museum/kawakamizenbe.html (2024.10.31確認)	2024/10/31	勝沼
カワグチ ヒサヒコ 川口 久彦	男	1933 2014	甲府市	甲府市	『学び直しの日常漢字』	言語	編集者。 大学卒業後、編集者として出版社に勤務。 『学研漢和大字典』『漢字源』『学研古語辞典』『中国の古典全集』などの編集長として携わる。 退職後、郷土文化同人誌「中央線」の編集長を務める。 (『学び直しの日常漢字』)	『学び直しの日常漢字』(出窓社、2014)	『学び直しの日常漢字』(出窓社、2014、奥付)	2025/1/11	韭崎
カワサキ ショウコ 川崎 小虎	男	1886 1977	岐阜県	岐阜県	『山梨百科事典』	芸術・スポーツ	大正・昭和期の日本画家。祖父・川崎千虎に大和絵を学ぶ。文展特選(大正3年)日本芸術院恩寵賞(昭和36年)勲四等旭日小綬賞(昭和40年)。1944年12月から1949年6月まで落合村(南アルプス市)に疎開している。山梨県立美術館には小虎の作品160点余りが所蔵される。 (『20世紀日本人名事典[1]あ～せ』) (『山梨百科事典』)	『森の巢』(明治書房、1973) 『川崎小虎と東山魁夷展』(山梨県立美術館、2009) 『川崎小虎展』(山梨県立美術館、1980)	『20世紀日本人名事典[1]あ～せ』(日外アソシエーツ、2004、p775) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1972、p245、顔写真あり)	2024/11/21	甲西

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
カチ ガケイ 河内 雅彦	男	1872 1943	明野村	北杜市	『新装明野村誌』	芸術・スポーツ	画家。 日本美術院で活躍。明治37年渡米、セントルイス万国博覧会に「天女舞楽之図」を出品し、銀牌を受賞。帰国後は二葉会・美術研精会にも出品し、皇室のお買上にもなった。 (『新装明野村誌』)		『新装明野村誌』(明野村、1996、p.896-897)	2025/1/29	明野
カチ セイコウ 河内 成幸	男	1948 	上野原町	上野原市	『日本美術家事典』	芸術・スポーツ	版画家 「何かが起こったら」で第38回日本版画協会展新人賞受賞 「Produce(Ⅰ),(Ⅱ),(Ⅲ)」で第6回ノルウェー国際版画ビエンナーレ展最高賞受賞 (『日本美術家事典』)2011年、紫綬章受章	『河内成幸作品集』(求龍堂、1977) 『河内成幸全版画1968-1987』(阿部出版、1987) 『河内成幸1988』(ARTム-、1988) 『河内成幸全版画1988-1991』(ARTム-、1991) ほか	『日本美術家事典』(オーアンドエムリミテッド、1995、p.285~286) 『やまなしの戦後美術3 四人の革新者たち河内成幸』(山梨県立美術館、2014)	2024/11/12	上野原
カワニ カズノリ 河西 万文	男	1936 	中富町	身延町	『版画教育の構成』 『中富町誌』	芸術・スポーツ	都留文科大学名誉教授。 東京芸術大学卒業後、旺元会、秀作美術展などで受賞。 1965年、山梨県版画協会設立、会長就任。 美学会、教育学会員として、多くの論文や版画技法の文献を出版する。 (『中富町誌』『版画教育の構成』)	『画人司馬江漢の研究』(岩森書店、1982) 『版画教育の構成』(岩森書店、1985) 『山梨の版画』(山梨版画協会、1990) 『河西万文銅版画の世界』(香港新文化出版社、2003)	『中富町誌』(中富町誌編集委員会、1971、p.1037) 『版画教育の構成』(岩森書店、1985、奥付) 『山梨日日新聞』 (1990.9.4./16面、1995.7.25/11面)	2024/11/30	身延
カムラ ヒデアキ 河村 秀明	男	1912 1999	藤井村	韮崎市	『韮崎市誌』	文学	作家。 1952年、「自由像文学会」を創立し、同人誌『自由像』を刊行。 評論と創作に情熱を燃やす。 (『韮崎市誌』)	『質屋日記』(自由像文学会、1966) 『狂死行』(自由像文学会、1968) 『虚構の家』(自由像文学会、1968) 『甲州と文学』(東都山梨新聞社、1970) 『小説富岡敬明』(甲陽書房、1979) 『生と性』(自由像文学会、1982)	『韮崎市誌・中巻』(韮崎市、1979、p.711)	2025/1/11	韮崎
カンザワ キヨシ 神沢 浄	男	1915 2007	竜王町	甲斐市	『落穂拾い』 『山梨県人物・人材情報リスト2011』	歴史・地理	参議院議員、衆議院議員、竜王町長。 (『落穂拾い』) 1998年、勲三等旭日中綬章受章。 (『山梨日日新聞』)	『落穂拾い』(青山書房、1986)	『落穂拾い』(青山書房、1986、奥付) 『山梨日日新聞』(2007.3.3、31面) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 (『日外アソシエーツ、2010、p.121』)	2024/11/25	竜王
カンベ キョイチ 神戸 拳一	男	1862 1926	東桂村	都留市	『山梨百科事典』 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 『郡内研究第12号』	産業	東京馬車鉄道会社支配人 日本鉄道会社専務取締役 東京電燈会社社長 (『山梨百科事典』)		『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2011、p.121) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1979、p.256~257) 『郡内研究』第12号(郡内研究編集部、2002、p.43~52) 『都留のいしぶみ』(小林貞夫、1986、p.98~104) 『草露山房覚書』(棚本安男、2004、p.321~365)	2024/11/8	都留

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
キウチ サブロウ 木内 三朗	男	1851 1917	南部町	南部町	『南部地区における明治の群像』 『改定南部町誌』	社会科学	『落穂拾遺』を記録。 後年南部に伝染病が流行した際、薬種商を開業、治療に尽くす。 晩年は南部郵便局長。現在は、大八氏がこれを継いでいる。 (『南部地区における明治の群像』)	『落穂拾遺』木内家蔵書(『南部町誌』、1964、南部町、P911収録)	『改訂南部町誌下巻』(南部町、1999、p396) 『南部地区における明治の群像』(渡辺修孝著、渡辺修孝、2000、p5)	2024/12/3	南部
キウチ ノブハル 木内 信春	男	1844 1914	南部町	南部町	『改定南部町誌』	社会科学	私塾蒙軒学舎に学ぶ。 初代睦合村村長。 南部新道の開発。 1877年より区長議員2期に渡り県議長をつとめる。 1896年、藍綬褒章を受ける。号は椿山。 (『改訂南部町誌』)		『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p253)『改訂南部町誌上巻』(南部町、1999、p396～540顔写真あり)	2024/12/3	南部
キギ かつらウ 木々 高太郎	男	1897 1969	山城村	甲府市	『山梨百科事典』 『山梨「人物」博物館』 『山梨県人物・人材情報リスト2023』	文学 自然科学・医学	生物学者、推理作家 本名：林緑(ハヤシカシ) 1937年、『人生の阿呆』で第4回直木賞受賞。 (『山梨百科事典』) 1946年、『新月』で第1回探偵作家クラブ賞受賞。 (『山梨「人物」博物館』) 江戸川乱歩賞の選者。 1951年、福沢賞受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』)	『頭のよくなる本』(光文社カッパブックス、1960) 『頭の良い子に育てる本』(金剛出版、1967) 『人生の阿呆』(東京創元社、1988) 『網膜脈視症他4編』(春陽堂書店、1997) 『木々高太郎全集1～6巻』(朝日新聞社、1971) ほか	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p762(林緑)) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図書、1992、p190～191) 『山梨の文学』(山梨日日新聞社、2001、p187～191) 『山梨の作家1』(山梨ふるさと文庫、1994、p67～74) 『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日外アソシエーツ、2022、p298,360(林緑)) 『松本清張と木々高太郎』(山梨県立文学館、2002、p11～26) 『ミステリーの系譜 江戸川乱歩 横溝正史 木々高太郎ほか 企画展』(山梨県立文学館、2021、p4～5) 「山梨日日新聞」(2022.3.29、19面、年表、顔写真あり)	2024/9/14	甲府
キクシマ イキセン 菊島 奕仙	男	1899 1978	塩山市	甲州市	『山梨日日新聞』 『読売新聞』	社会科学	第一生命広島支社長 法幢院(ほうどういん)住職 広島に原爆が投下された直後から保険会社の広島支社長として、遺族らへの保険金の支払いに奔走した 1927年第一生命入社 1940年広島支社長就任 『読売新聞』		「山梨日日新聞」 2016.8.15、7面 2015.8.5、27面 2015.8.7、23面 『読売新聞』 2015.08.07、35面	2025/2/28	塩山

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
キクシマ リュウゾウ 菊島 隆三	男	1914 1989	甲府市	甲府市	『山梨県人物・人材情報リスト 2023』	芸術・ス ポーツ	シナリオライター、映画プロデューサー、 日本大学芸術学部教授 甲府市八日町生まれ。本名、菊嶋隆 蔵。 ブルーリボン賞、芸術祭文部大臣賞、 サンケイ国民映画脚本賞など多数受 賞。 「用心棒」「椿三十郎」「天国と地獄」「赤 ひげ」など黒澤明監督とのコンビによる 名作が多数ある。 日本ペンクラブ、シナリオ作家協会など に所属。 紫綬褒章、勲四等旭日小綬章授与。 1998年、菊島隆三賞創設。 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』) 菊島隆三賞第19回(2016年度)で終了 となった。 (「山梨日日新聞」)	『木曾街道いそぎ旅』(オリエント書房、 1973) 『ペンとカチンコと計算器』(サンリオ、 1982) 『菊島隆三シナリオ選集1～3』(サンレ ディ、1984) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日 外アソシエーツ、2022、p329～330、546 ～547) 『山梨日日新聞』(2018.9.26、P17年表、 顔写真など)	2024/9/14	甲府
キシ ユキ 岸 ユキ	女	1948 	兵庫県	兵庫県	『らっきょの汗が輝くとき』	芸術・ス ポーツ	タレント。 1964年西野バレエ団に入団。 1969年TBSドラマ『サインはV』でデ ビュー。 NHK「明るい農村」、テレビ東京「岸ユキ のふるさとホットライン」で300以上の農 村を取材。 同時期に東京の自宅とは別に山梨県韮 崎市に居を構え、自ら畑を耕すようにな る。韮崎市文化ホール館長務める。 (『らっきょの汗が輝くとき』)	『らっきょの汗が輝くとき』(家の光協会、 2003) 『らっきょの汗が輝くとき』(家の光協会、 2003)	『らっきょの汗が輝くとき』(家の光協会、 2003、奥付) 『韮崎ムーブ2020』(韮崎市、2020、 p16)	2025/1/11	韮崎
キタノ 効ハル 北野 隆春	男	1891 1981	境川村	笛吹市	『山梨県人物・人材情報リスト 2021』 『山梨百科事典』	産業 社会科学	北野商会創業者 スタンレー電気創業者 北野生涯教育振興会設立 (『山梨百科事典』)		『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p267～268) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日 外アソシエーツ、2020、p111～112) 『北野隆春その人』(北野隆興、1982) 『東八メモリーズこんなひとがいた。』 (東八代広域行政事務組合、2002、 p105～114)	2024/11/8	石和
キタノ ヤシ 北野 康	男	1923 2018	中道町	甲府市	『山梨県人物・人材情報リスト 2023』	自然科学・ 医学 文学	名古屋大学・椋山女子学園大学名誉教 授。 名古屋大学理学部教授を経て、名古屋 大学水圏科学研究所所長、名古屋大学 名誉教授、椋山女子学園大学学長を歴 任。勲三等旭日中綬章。 日本地球化学会・日本化学会・日本海 洋学会・日本分析化学会所属。 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』)	『水の科学』(日本放送出版協会、 1978) 『水と地球の歴史』(日本放送出版協 会、1980) 『地球温暖化がわかる本』(マクミラン・リ サーチ研究所、1990) 『化学の目でみる地球の環境』(裳華 房、1992) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日 外アソシエーツ、2022、p274～275) 『化学の目でみる地球の環境』(裳華 房、1992、奥付)	2024/9/14	甲府

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ典拠	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
キタムラ ヨウジ 北村 雄治	男	1871 1903	鏡中条村	南アルプス市	『若草町誌』	歴史・地理 産業	北海道開拓 (『若草町誌』)		『若草町誌』(若草町誌編集委員会、若草町、1990、p447～454顔写真あり) 『絆ー若草町合併45周年記念町勢要覧』(若草町、1999、p9～14) 「ランデブー」12号(コミヤマ工業、2002、p11～12) 『北村の記憶』(北村地域農泊推進協議会、2021) 『北村の思い出』(文集『北村の思い出』刊行会、2021) 『北村三兄弟物語』(北村地域農泊推進協議会、2022) 『北海道「北村」建設と北村雄治・暁・謹兄弟の軌跡』(山梨県立博物館研究紀要第十六集抜刷、2022)	2024/11/6	わかくさ
キッタ カツコ 橘田 活子	女	1942 2023	東京都	東京都	『神ドノのおヒルネ』	文学	元保育士 元山梨県育精福祉センター職員 山梨市詩人懇話会会員 県詩人会副会長 (『神オドのおヒルネ』) 第33回中村星湖賞受賞	『花粉』(山梨はたらく文学の会、1969) 『神ドノのおヒルネ』(甲陽書房、1981) 『にぎやかな悲しみ』(朝日新聞出版サービス、2001) 『のこれことばに』(土曜美術社、2013) 『茶碗の欠片』(百年書房、2019) 『イメージーション20号』(山梨文芸協会2023、217p)	『神ドノのおヒルネ』(甲陽書房、1981、山梨) 梨日日新聞(1998.2.8、28面) 山梨日日新聞(2000.7.24、17面) 山梨日日新聞(2013.9.26、11面) 山梨日日新聞(2015.7.8、15面) 山梨日日新聞(2019.7.5、25面) 山梨日日新聞(2019.10.5、13面) 山梨日日新聞(2023.12.28、9面)	2024/11/1	双葉
キバタ イタル 木下 いたる	男	不明	甲府市	甲府市	『山梨日日新聞』	芸術・スポーツ	甲府市出身。高校卒業後に映画を学ぶため米国の大学へ留学。 帰国後、「ギガントを撃て」(講談社)でデビュー。新潮社「月刊コミックバンチ」で現代に再生した恐竜を飼育する園を舞台に、恐竜たちと飼育員の奮闘を描く「ディノサン」を連載中。 (『山梨日日新聞』)	『ディノサン』(1～6以下続刊、新潮社、2021～) 『ギガントを撃て』(全3巻、講談社)	『山梨日日新聞』(2023.1.3.23面) 木下いたるX https://x.com/kurinosukeboy (2024.10.10確認)	2024/11/1	甲府
キムラ トウキチ 木村 東吉	男	1958 	大阪府	大阪府	『こんな暮らしが良かった』	芸術・スポーツ	ファッションモデル。 アウトドアスクールや専門学校の講師。 (『アウトドアで素敵な週末』) 1995年河口湖町へ移住。 (『こんな暮らしが良かった』)(山と溪谷社、2001) 『森と湖の生活』(光文社、2001) ほか	『木村東吉のパパはシェフ』(双葉社、1994) 『木村東吉のカントリーダイアリー』(ベネッセコーポレーション、1997) 『親子で楽しむアウトドア・クッキング』(日本放送出版協会、2000) 『こんな暮らしが良かった』(山と溪谷社、2001) 『森と湖の生活』(光文社、2001) ほか	『21世紀-山梨の100人』(山梨新報社、2002、p28) 木村東吉オフィシャルサイト http://www.greatoutdoors.jp/profile.html (2025.2.20確認)	2025/2/20	富士河口湖

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
キヨクモ エイジュン 清雲 栄純	男	1950 	塩山市	甲州市	『山梨県人物・人材情報リスト 2011』	芸術・ス ポーツ	塩山福蔵院長男 元サッカー日本代表 元ジェフ千葉監督 元日本代表コーチ 元U-18日本代表監督 大宮アルディージャのトータルマネー ジャー法政大学教授 (『山梨県人物・人材情報リスト2011』)		『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日 外アソシエーツ、2011、p128) 読売新聞2010.7.633面 毎日新聞2006.05.18夕刊1面2005.02.17 朝刊16面2004.11.28朝刊2面 1999.05.016面 1994.02.0520面 山梨日日新聞2016.4.23 23 2002.11.104面 埼玉新聞2002.04.281面	2025/2/28	塩山
キヨクモ シュンケン 清雲 俊元	男	1935 	塩山市	甲州市	『甲斐源氏安田義定』 『木食白道知られざるもう一人の 木食』	歴史・地理	国学院大学文学部史学科卒。 専攻は中世史・宗教史。 放光寺住職、山梨大学非常勤講師。 山梨郷土研究会常任理事、 山梨県文化財審議委員 (『甲斐源氏安田義定』) 山梨県文化財保護審議会会長 富士山世界文化遺産山梨県学術委員 長。 山梨郷土研究会理事長。 (『木食白道知られざるもう一人の木 食』)	『真言宗智山派大善寺』(山梨歴史美術 研究会、2008) 『木食白道知られざるもう一人の木食』 (山梨ふるさと文庫、2008) 『峡東今昔写真帖』(郷土出版社、 2004) 『笛吹川特集号』(山梨法人会、1991) 『放光寺』(山梨歴史美術研究会、 2005) 『甲斐源氏安田義定』(放光寺甲斐創八 百年記念事業奉賛会、1984) 他	『甲斐源氏安田義定』(清雲俊元、 1984、奥付) 『木食白道知られざるもう一人の木食』 (山梨ふるさと文庫、2008、奥付) 『読売新聞』2013.6.26、33面 『山梨日日新聞』2024.12.8、16面	2025/2/28	塩山
キンダイチ ハルヒコ 金田一 春彦	男	1913 2004	東京都	東京都	『山梨県人物・人材情報リスト 2023』 『大泉村130周年記念誌』	言語 芸術・ス ポーツ	国語学者・邦楽研究家 東京大学文学部国文科卒 東京外国語大学、名古屋大学、上智大 学教授を歴任。 日本語アクセント、平曲研究の第一人 者。大泉村名誉村民。 「金田一春彦ことばの資料館」(北社市 金田一春彦記念図書館内)有り。昭和 52年紫綬褒章、『十五夜お月さん一本 居長世人と人生』で昭和58年芸術選奨 文部大臣賞受賞。昭和61年勲三等旭 日中褒章、平成9年文化功労者、平成 16年瑞寶重光章。 (『山梨県人物・人材情報リス2023』)	『日本語』(岩波書店、1975) 『十五夜お月さん』(三省堂、1982) 『日本の方言』(教育出版、1995) 『平曲考』(三省堂、1997) 『白いボート』(如月社、1998) 『金田一春彦著作集全13巻』(玉川大学 出版部、2003-06) 『ケヤキ横丁の住人』(東京書籍、1983) 『ホンモノの日本語』 (KADOKAWA、2016)ほか	『現代日本人名録2002-2』(日外アソシ エーツ、2002、p501) 『山梨日日新聞』(2004.5.20、23面) 『郷土ゆかりの人物総覧』(日外アソシ エーツ、2011、p240) 『金田一春彦著作集別巻』(玉川大学出 版部、2006、p103~142) 『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日外 アソシエーツ、2022、p213~214)	2024/10/1	金田一
クスマト キミエ (サワノリ キミエ) 楠本 君恵 (沢登 君恵)	女	1943 	楯形町	南アルプス市	『日本児童文学大事典』	文学	法政大学教授 翻訳者 (『日本児童文学大事典』)	『翻訳の国の「アリス」』(未知谷、2001) 『出会いの国の「アリス」』(未知谷、 2007) 『まざあ・ぐうすマザー・グース』(未知 谷、2010)	『日本児童文学大事典第1巻』(大日本 図書株式会社、1993、p353)	2024/11/12	楯形

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
クヌキ キナイ 功刀 亀内	男	1889 1957	豊村	南アルプス市	『山梨百科事典』	歴史・地理	甲州文庫の収集者 (『山梨百科事典』)		『続・甲州庶民伝』(NHK甲府放送局、1977、p20～26) 『図書館活用百科』(新潮社、1981、p182) 『山梨・本のある風景』(山梨ふるさと文庫、1989、p105) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、293) 『山梨の20世紀』(山梨日日新聞社、2000、p87) 『山梨県史資料編19』(山梨県、2002、p885～890) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p199) 『月刊山梨』(1950.2月号、p3、5月号、p6、6月号、p11、1951.10月号、p12)	2024/11/12	榊形
クヌギ キンジロウ 功刀 金二郎	男	1903 1975	神山村	韮崎市	『山梨県人物・人材情報リスト2019』 『韮崎市誌』	自然科学・ 医学	数学者。 1914年、フランスへ留学して抽象空間論の創始者であるフレシエに師事。 我が国に抽象空間論を紹介するとともにポレル集合や解析集合の理論に関する研究を発表。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』) パリ大学留學後、北海道大学理学部数学科初代主任教授。 その後大阪大学、京都産業大学、東京理科大学教授を歴任。 1929年、「抽象空間の研究」により帝国学士院賞。 (『韮崎市誌』)	『解析学要論』(弘文堂、1951)	『韮崎市誌・下巻』(韮崎市、1979、p437) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p257)	2025/1/11	韮崎
クボタ アラタ 窪田 新	男	1981 	甲府市	甲府市	「山梨日日新聞」	芸術・ス ポーツ	アートディレクター。 2006年、電通入社。 2015年、「カンヌライオンズ国際クリエイティブティ・フェスティバル」金賞、銀賞。 「ニューヨークADC賞」金賞。 グッドデザイン賞。 (「山梨日日新聞」)		「山梨日日新聞」(2015.9.19、14面顔写真あり) 「kubotaarata」 https://www.instagram.com/kubotaarata/ (2024.9.14確認)	2024/9/14	甲府
クボタ イツク 久保田 一竹	男	1919 2003	東京都神田 三河町	東京都千代田 区	『命を染めし一竹辻が花』 『山梨日日新聞』 『読売新聞』	芸術・ス ポーツ	1978年(財)民族衣装文化普及協会より「民族衣装文化の普及啓蒙」に対し表彰される。 1983年織研新聞社より「第5回織研賞」受賞。 富士河口湖町特別町民。 (『命を染めし一竹辻が花』)	『命を染めし一竹辻が花』(シーズ、1986) 『一竹辻が花展』(一竹辻が花、1991) 『河口湖縁起』(一竹辻が花、2005) 『一竹辻が花・光・風』(読売新聞社、1984) 『一竹辻が花光の輝き』(小学館、1994)	『一竹辻が花の妻』(久保田不二子、文園社、1994) 『命を染めし一竹辻が花』(シーズ、1986) 『山梨日日新聞』(2003.4.30.19面) 『読売新聞』(2003.4.30.24面)	2024/12/28	富士河口湖

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
クボタ カズ 久保田 佳寿	女	1904 1990	高知県	高知県	『女医久保田佳寿伝』 『富士吉田医師会報』 『忍野村史増補版第1巻』	自然科学・ 医学	内科医 昭和10年に忍野村に診療所を開院 (『女医久保田佳寿伝』、『忍野村誌』) 忍野村名誉村民第1号 (『忍野物語』、『忍野村史増補版第1巻』)		『女医久保田佳寿伝』 (鴨居通信、1988) 『女医久保田佳寿によせる村びとの声』 (忍野村、1988) 『広報忍野』90号 (忍野村、1989.8、p4) 『忍野村誌』(忍野村役場、1989、p772) 『富士吉田医師会報』28号 (富士吉田医師会、1990、p30) 『忍野物語』(忍野村役場、2001、p121) 『忍野村史増補版第1巻』 (忍野村、2021、p1114) 山梨日日新聞(1999.6.8、14面)	2024/10/24	おしの
クボタ ショウエン 窪田 成円	女	1940 	東京都	東京都	『梵字による平和の祈り』	言語 哲学・宗教	サンスクリット大学名誉文学博士。 国際梵字仏協会(甲斐市)会長、梵字ス リランカ文化財団日本事務局長、NHK 学園オーブンスクール梵字講師など。 (『梵字による平和の祈り』)	『やさしい梵字』(知道出版、1995) 『梵字による平和の祈り』(知道出版、 2007)	『梵字による平和の祈り』(知道出版、 2007、奥付) 『山梨日日新聞』(2006.1.31、17面、顔 写真あり、2007.12.12、18面) 『梵字ネット』(https://bonji.net 、 2024.11.25確認)	2024/11/25	竜王
クボタ セイ 窪田 精	男	1921 2004	安都那村	北杜市	『山梨県人物・人材情報 リスト2023』 『郷土高根第20号』 『フィンカム』	文学	東京高等工科学校中退。 浪曲劇女剣劇を経て、松竹劇団に加入 するが、1940年検挙され以後終戦時ま で拘留される。 戦後、日本共産党に入党し、新日本文 学会に入会、書記の一人として作家活 動を開始。 1965年日本民主主義文学同盟を創立。 事務局長、議長などを務める。 1978年『海霧のある原野』、1992年三部 作『夜明けの時』『鉄格子の彼方で』『流 人島にて』で多喜二・百合子賞を2回受 賞。 2004年胃ガンのため死去。 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』)	『海と起重機』(新日本出版社、1964) 『海霧のある原野』(新日本出版社、 1978) 『夜明けの時』(新日本出版社、1987) 『鉄格子の彼方』(新日本出版社、 1989) 『流人島にて』(新日本出版社、1992) 『廃墟燃ゆ』(新日本出版社、1998) 『石楠花村日記』(新日本出版社、 1972) 『ある党員の告白』(大日本雄弁会講談 社、1956) 『白い歩道橋』(新日本出版社、1973) 『霧の南アルプス』(新日本出版社、 1994) 『フィンカム』(本の泉社、2004) 『私の戦後文学史』(青磁社、1990) 『工場のなかの橋』(新日本出版社、 1983) 『死者たちの島』(新日本出版社、1977) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2023』 (日外アソシエーツ、2022、p330-331) 『郷土高根第20号』(高根郷土研究部会 2003、p3) 『フィンカム』(本の泉社、2004、奥付) 『窪田精(1921-2004)浅川伯教・巧兄弟 資料館、2015)	2025/1/24	たかね

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
クマオウ トクハイ 熊王 徳平	男	1906 1991	増穂町	富士川町	『山梨県人物・人材情報リスト2023』 『「作家」に関わった山梨の文人たち』 『甲斐 117号』	文学	小説家。 1931年、日本プロレタリア作家同盟山梨支部結成。 1940年、芥川賞候補となった「いろは歌留多」で作家デビュー。 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』) 1948年、「作家」を創刊、『甲府盆地』を執筆。 1954年、『甲州べいと牛の糞』が「文芸春秋」実話に入選。 1957年、『山梨町議選誌』が直木賞候補となる。 (『「作家」に関わった山梨の文人たち』)	『甲府盆地』(中部文学社、1950) 『赤い地図』(東邦出版社、1971) 『河鹿川』(五月書房、1969) 『小説竹久夢二』(光風社書店、1978) 『あんぼたん』(東邦出版社、1974) 『狐と狸』(東邦出版社、1978) 『虎と狼』(日本経済新聞社、1975) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日外アソシエーツ、2023、p331) 『「作家」に関わった山梨の文人たち』(原田重三、季刊作家社、2005、p55~91) 『資料と研究 第十二輯』(山梨県立文学館、2007、p119~130) 『甲斐 117号』(山梨郷土研究会、2008、p39~40) 『安曇野を去った男 ある農民文学者の人生』(三島 利徳、2016、p132~140、p140顔写真あり)	2024/9/20	甲府
クマ ツトム 組谷 勉	男	1911 1998	春日居村	笛吹市	『思い出、絆』	社会科学	元小・中学校教員。 山梨市上神内川に住む。 (『思い出、絆』)	『一筋道』(組谷勉、1972) 『山梨県へき地教育の百年』(山梨日日新聞社、1978) 『さあさい教育』(ぎょうせい、1982) 『流れるままに』(組谷勉、1990) 『生涯学習の中で』(組谷勉、1991) 『教室を飛び出して』(組谷勉、1993) 『自学自習を目指して』(組谷勉、1994、山梨県立図書館所蔵) 『独り暮らしの生き方十二章』(組谷勉、1996、山梨県立図書館所蔵) 『思い出、絆』(組谷勉、1997) ほか	『思い出、絆』(組谷勉、1997)	2024/11/24	山梨
クワモト ヨウコ 倉本 陽子	女	1950 	愛媛県	愛媛県	『山梨日日新聞』	芸術・スポーツ	ガラス工芸家 伊藤工房(所在地:忍野村)に参加(1982,HP) 日本ジュウリー展佳作入選(1972,HP) 国際ジュエリー展入選(1973,HP) 日本ジュウリー展ガラスジュエリー佳作入選(1975,HP) デビアスダイヤモンドコンテスト1位入賞(1975,HP) '90日本のガラス展朝日新聞社賞受賞(1990,HP) 使ってみたい北の菓子器展大賞(1996,HP)		『ガラス工芸ノート』(視覚デザイン研究所、1991) 『現代日本のガラスvol.1 Glass』(アートボックスインターナショナル、2008) https://www.yokoglass.com (2024.10.24確認)	2024/10/24	おしの

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
クハラ ノブチカ 栗原 信近	男	1844 1924	穴山村	韮崎市	『山梨県人物・人材情報リスト2019』 『韮崎市誌』	社会科学 産業	実業家、農村指導者。 第十国立銀行頭取から農村指導者に 転向。 富士川の新水路開拓、ぶどう栽培など に力を注いだ。 また二宮尊徳の報徳思想を説きなが ら、わらじがけで山梨県内をまわり、明 治の二宮尊徳と呼ばれた。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』) 1880年、山梨商法会議所を設立し初代 会頭。 1888年から甲州葡萄栽培組合長、1899 年から山梨県農会幹事長として農業指 導に当たる。 彼の尽力した社会的仕事には神葬祭の 許可(1869年)、武田神社発起、中央線 開通などがある。 (『韮崎市誌』)		『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日 外アンジエーツ、2018、p110) 『韮崎市誌・下巻』(韮崎市、1979、p427) 『栗原信近の生涯』 (佐藤森三、栗原信近翁胸像建設委員 会、1970) 『創業百年史』 (山梨中央銀行、1981、p143)	2024/11/14	韮崎
グリーンバンク キャサリン キャサリン・マー サ・グリーンバンク	女	1891 1983	カナダ	カナダ	『山梨英和学院120年史』 『山梨百科事典』 『ミス・グリーンバンク』	社会科学	1926年第10代校長として着任。 制服の制定、校友会の組織化に取り組 む。 (『山梨英和学院120年史』) 山梨英和女学校最後の外国人校長。 1957年、甲府市名誉市民。 山梨県教育功労者。 (『山梨百科事典』)		『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図書、 1992、p179～180) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p302) 『山梨英和100年』(山梨英和学院、 1989、p49～64、151(年表)) 『山梨英和学院120年史』(校法人山梨 英和学院、2009、p26～3037～38) 山梨英和中学校・高等学校 ホームページ https://www.yamanashi- eiwa.ac.jp/jsh/about/history (2024.11.29確認) 『ミス・グリーンバンク』(山梨英和学院山 梨英和学院同窓会、1959、p1～296)	2024/9/14	甲府
クワク ヨシ 黒川 良人	男	1943 	山梨県	山梨県	『犬の詩猫の詩』	文学	日本作詩家協会員 山梨県作詞家作曲家連盟副理事長 (『犬の詩猫の詩』)	『犬の詩猫の詩』(東洋出版、2000) 『創作動物童話』(日本文学館、2004)	『犬の詩猫の詩』(東洋出版、2000、奥 付)	2024/11/12	上野原
クワワ シュシ 黒澤 珠々	女	1982 	甲府市	甲府市	『楽園に間借り』 『山梨県人物・人材情報リスト 2023』	文学	小説家 第3回野生時代青春文学賞受賞しデ ビュー。 (『楽園に間借り』)	『楽園に間借り』(角川書店、2007) 『椅子』(『野生時代』角川書店、2008年 6月号、p103～132) 『あふれるこぼれるRomanticflu』(角川 書店、2013)	『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日 外アンジエーツ、2022、p331) 『山梨日日新聞』(2007.11.21、11面、顔 写真あり) 『楽園に間借り』(角川書店、2007、奥付 に著者紹介あり)	2024/9/18	甲府

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
クワハラ ゲンタツ 桑原 玄達	男	1810 1901	明見村	富士吉田市	『富士北麓と文人たち』	自然科学・ 医学 文学	医師、神官。 1810年明見村に生まれ、1832年、江戸にて杉田立郷に眼科・外科を学び帰郷。1863年、新徴組に参加し、江戸警備、幕府医官として勤務。 1868年新徴組解体に伴い、庄内藩に移封、文学師範を務める。 1873年帰郷し、息子の医業を助ける。 1883年「攝生摘要」を著し、神官として神道の布教にも勤める。 1888年、「コレラ予防之義につき建白」建白書を元老院に提出。 (『富士北麓と文人たち』)	『攝生摘要』(桑原玄達、1883、国立国会図書館所蔵) 『長生法 天寿要談 世俗日用撰生之早道 撰生摘要 民間衛生法』(桑原玄達述、1993、大空社、国立国会図書館所蔵)(1883年版の復刻)	『富士北麓と文人たち』(ぎょうせい、1986、p42~52) 『富士北麓幕末偉人伝』(山梨日日新聞社、1995、p79~84) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p307)	2024/12/27	富士吉田
クワハラ フカス (クワハラ フクホ) 桑原 福保	男	1907 1963	境川村	笛吹市	『山梨県人物・人材情報リスト2021』	芸術・ス ポーツ	洋画家 1936年文展に入選 1942年「緑陰」、「黄色い傘」、「少女像」で東光賞を受賞 1954年、岡田賞を受賞 1958~1960年欧州留学(『山梨県人物・人材情報リスト2021』)		『山梨県人物・人材情報リスト2021』(『日外アンシエーツ、2020、p379』)『桑原福保(フクホ)展図録』(山梨県立美術館、2002) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p307)	2024/11/8	石和
クワハラ ミキネ 桑原 幹根	男	1895 1991	明見村	富士吉田市	『山梨県人物・人材情報リスト2013』	社会科学	愛知県知事。東京帝国大学法学部卒。 1946年、愛知県知事に任官、東海北陸地方行政事務局長を兼務する。1951年より愛知県知事に6回当選。その間、愛知用水、豊川用水を実現。また東海製鉄を誘致し中京工業圏をつくりあげた。 1976年引退。愛知県名誉市民(1987年)、富士吉田市名誉市民(1988年)。 (『山梨県人物・人材情報リスト2013』、 『山梨「人物」博物館』)		『山梨県人物・人材情報リスト2013』(『日外アンシエーツ、2012、p58』) 『山梨日日新聞』(2004.11.23、17面) 『山梨日日新聞』(2000.7.23、20面) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図書、1993、p191)	2024/12/27	富士吉田
ケンマ コウイチ 弦間 耕一	男	1931 2024	御坂町	笛吹市	『<改訂>甲陽一徳斎藤原助則甲州巨匠』 『山梨日日新聞』	歴史・地理	1992年中学校長退職 山梨郷土研究会理事 山梨県史特別調査員 笛吹市文化財審議委員 日本数学史学会委員 (『<改訂>甲陽一徳斎藤原助則甲州巨匠』) 2020年、瑞宝双光章を受賞 2024年、逝去後従六位叙位 (『山梨日日新聞』)	『寛政太枘事件』(甲斐郷土史教育研究会、1983) 『御坂百話』(矢野出版、2007) 『和算家物語』(叢文社、2008) 『<改訂>甲陽一徳斎藤原助則甲州巨匠』(田村弘正、2018)	『<改訂>甲陽一徳斎藤原助則甲州巨匠』(田村弘正、2018、奥付) 『山梨日日新聞』(2020.1.11、2面、 2024.9.22、16面、2024.10.26、22面)	2024/11/8	御坂

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
コイケ サオリ 小池 沙織	女	1983 	塩山市	甲州市	山梨日日新聞	芸術・スポーツ	バレリーナ (「山梨日日新聞」)		「山梨日日新聞」 2024.7.24、9面 2023.6.28、17面 2020.8.12、9面 2020.6.28、18面 2016.8.14、11面 2013.9.5、22面 2013.9.7、25面 2008.6.18、20面 1995.12.12、16面	2025/2/28	塩山
コイケ タツノ 小池 唯則	男	1903 1982	相興村	笛吹市	『山梨百科事典』	社会科学	歴史家。 教職を経て、1954年、東京練馬区に幼稚園を設立。 津田青楓の絵に魅せられ、一宮町に青楓美術館設立を企図。 1974年10月青楓美術館開館。(その後、美術館は遺族により一宮町に寄贈) (『山梨百科事典』)		『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p322) 『東八メモリーズこんなひとがいた。』(東八代広域行政事務組合、2002、p115～123) 『笛吹市ふるさとの偉人』(笛吹市教育委員会・笛吹市ふるさとの偉人選考委員会、2017、頁付なし、小池氏レリーフ(青楓美術館所蔵)の写真あり)	2024/11/15	一宮
コイケ トウゴロウ 小池 藤五郎	男	1895 1982	更科村	韮崎市	『山梨県人物・人材情報リスト2019』 『山梨百科事典』	文学	国文学者。 東京高等学校教授、国士館大学教授、東洋大学教授、都留文化大学教授を経て、1965年立正大学文学部教授。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』) 母校韮崎小や韮崎中、高根西小学校などの校歌を作詞。 (『山梨百科事典』)	『新資料による西鶴の研究』(風間書房、1966) 『興(狂)歌の味わい方作り方』(学芸図書、1967) 『山東京伝』(吉川弘文館、1989) ほか	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p322) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p200) 『韮崎市誌・中巻』(韮崎市、1978、p706) ほか	2025/1/11	韮崎
コウノ ドウクウ 河野 道工	男	1909 1972	市川大門町	市川三郷町	『道路工夫の歌』 『山梨日日新聞』	文学	道路工夫として勤務する傍ら短歌を作り「山時歌壇」「樹海」「国民文学」に投稿。映画「二人で歩いた幾春秋」は氏をモデルとした木下恵介監督の作品。	『道路工夫の歌』(甲陽書房、1960) 『雑草の歌—続道路工夫の歌』(甲陽書房、1969)	『忘れ得ぬ人びと』(甲陽書房、1986、p140～148) 『蛾眉』第4号(市川大門文化協会、1975、p8～10) 『蛾眉』第20号(市川大門文化協会、1991、p49～52) 『山梨日日新聞』(1972.11.1711面) 『いらか』3号(山梨県庁関係職員総合機関誌発行委員会、1961、p14)	2024/11/29	市川三郷
コウノ ヨシヒロ 河野 義博	男	1890 1985	山梨市	山梨市	『山梨百科事典』 『山梨県人物・人材情報リスト2017』	文学	劇作家。 1917年、「中央公論」に戯曲「サラセンの王宮」を発表。 芸術座の舞台監督を経て病気により帰郷。 雑誌「演劇研究」の編集同人となり、戯曲の創作、評論、翻訳にあたる。 山梨市へ合併直前の加納岩町長をつとめ、地方自治に貢献。 (『山梨百科事典』、『山梨県人物・人材情報リスト2017』)	『近代演劇史論』(中村吉蔵共著、日本評論者出版部、1921、国立国会図書館ほか所蔵) 『早稲田文学戯曲選』『筏』(中村吉蔵ほか編、高陽社、1926、国立国会図書館ほか所蔵) 『無天の人々』(三武書房、1973) 『遠い風景』(新星書房、1978) 『石庭記』(河野義博、1983、国立国会図書館ほか所蔵) 『桃山物語』(河野靖、1988、甲府市立図書館所蔵) ほか	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p346) 『山梨県人物・人材情報リスト2017』(日外アソシエーツ、2016、p307)	2024/11/24	山梨

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
コシイ カナメ 興石 要	男	1931 1996	武川村	北杜市	『やまびこ村の少年』 『山梨日日新聞』	文学	山梨県教職員32年勤務 社会教育主事 (『やまびこ村の少年』)	『やまびこ村の少年』 (山梨日日新聞社、1993)	『やまびこ村の少年』(山梨日日新聞社、1993、p64) 『山梨日日新聞』(1996.10.20.16面)	2024/11/7	むかわ
コシイ モリサト 興石 守郷	男	1837 1911	秋田村	北杜市	『秋田村誌』 『長坂町誌(下)』	文学 哲学・宗教	建岡神社・浅間神社神官。 山梨神道局長。 甲府湯田女学校校長。 歌誌「えびかつら」を刊行し、山梨の文学、国文学の振興に努める。 (『長坂町誌』)	『甲斐古社考』 『伊勢物語段解』	『秋田村誌』(秋田村、1955、p198-200) 『長坂町誌(下)』(長坂町、1990、p670-672) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p377)	2024/11/1	ながさか
コシガ エツオウ 越賀 越翁	男	1867 1947	三重県	三重県	『韮崎市誌』	哲学・宗教	宗教家。 1891年慶応義塾を卒業。 曹洞宗僧侶としての修業を積み、1893年南巨摩郡西島村広禅院住職に迎えられる。 青年たちを紙漉・農耕の余暇に寺へ集め英語・国漢・万国史・経済学初歩等を教えた。 1903年旭村大公寺住職に転じる。6年前の伽藍全焼を受け、その再建に堪える人物としての選出であった。 弟子の笠井重治とはかり、1907年から1922年まで米国留学。超人的努力により年額1000円を目標に送金を実行し大公寺再興の志願を果たした。 (『韮崎市誌』)		『韮崎市誌・下巻』(韮崎市、1979、p433) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p377)	2025/1/11	韮崎
コシジ フブキ 越路 吹雪	女	1924 1980	東京	東京都	『山梨百科事典』	芸術・スポーツ	両親が山梨県出身 宝塚音楽歌劇学校卒 ミュージカル女優(『山梨百科事典』)		『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p377)	2025/2/28	塩山
コシマキ トヨマル 腰巻 豊丸	男	1860 1949	韮崎町	韮崎市	『韮崎市誌』	哲学・宗教 社会科学	宗教家。 第3代韮崎町他二ヶ村組合長。 若宮八幡宮社掌。 怪我人の治療に尽くし「河原部さん」とも呼称される。 (『韮崎市誌』)		『韮崎市誌・下巻』(韮崎市、1979、p433)	2024/11/1	韮崎
コガ トシオ 小高 敏夫	男	1936 2023	東京都	東京都	『日本経済新聞』	産業	東京エレクトロン創業者。 1959年に日商岩井(現双日)に入社し、63年に同僚と東京エレクトロン研究所(現東京エレクトロン)を創業した。技術商社として米国から半導体製造装置を輸入する一方で、米国との合弁会社を立ち上げ、装置製造の国産化を進めた。80年に社長、94年に会長となり、国内の半導体産業の成長や、同社の事業拡大をけん引した。 (『日本経済新聞』)	『ファウンダー小高敏夫の考え 東京エレクトロンさらなる飛躍への道しるべ』(文藝春秋メディア事業局、2016)	『日本経済新聞』日経電子版2023.04.05 https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUE052T0V00C23A4000000/ (2025.01.07確認) 『火の玉集団ふたたび 東京エレクトロングローバルリーダーとしての責任とさらなる未来への挑戦』(TEL UNIVERSITY、2010、p386~p398)	2025/1/11	韮崎

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
コッチョガワ ツッペエタ 五緒川 津平太	男	1958 	八田村	南アルプス市	『キャン・ユー・スピーク甲州弁?』	言語	本名、大堀卓。 「月刊マイタウン」誌上で「甲州弁でGO!!」を1998年より10年間連載する。 (『キャン・ユー・スピーク甲州弁?』)	『キャン・ユー・スピーク甲州弁?』(樹上の家出版、2009)『キャンユー・スピーク甲州弁?2』(樹上の家出版、2013)『山梨の逆襲』五緒川津平太編(言視社、2014)『なんちよにかかんちよにか』(樹上の家出版、2016) 『キャン・ユー・スピーク甲州弁?3』(樹上の家出版、2020) 『私立じゃんずらけ小学校の楽しい甲州弁』(樹上の家出版、2021)	『キャン・ユー・スピーク甲州弁?』(樹上の家出版、2009、カバーの袖に説明) 「山梨日日新聞」(2009.5.14、5面、顔写真あり、2010.1.4、11面、写真あり、2010.5.14、11面、2010.6.4、22面、写真あり、2012.1.4、17面、2017.7.1、特集45面、顔写真あり、2018.10.29、5面、顔写真あり、2019.5.24、22面、顔写真あり、2020.8.16、17面、顔写真あり、2021.2.28、22面、顔写真あり、2021.12.18 23面、顔写真あり、2022.8.5 26面、顔写真あり、2023.1.11、16面 顔写真あり)	2024/11/13	八田
コトウ ヒシ 後藤 斎	男	1957 	山梨県	山梨県	『山梨県人物・人材情報リスト2023』	社会科学 産業	23年、内閣府副大臣。26年、山梨県知事。 甲府一高(昭和51年)卒、東北大学経済学部(昭和55年)卒。同年、経済産業省に入省。12年民主党から衆院比例区に当選。17年、21年、24年、通算4期当選。 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』)	『ダイナミックやまなしの挑戦』(内外情勢調査会、2015)	『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日外アソシエーツ、2022、p9、64) 後藤ひとし公式サイト https://go510.jp/ (2024.9.18確認) 「後藤ひとし/ことうひとし:x」 https://x.com/i/flow/login?redirect_after_login=%2Fgoto_hitoshi_ (2024.10.8確認) 「山梨日日新聞」(2014.9.27、1面、2015.1.6、4面、2015.1.10、7面、2015.1.26、17面)	2024/9/18	甲府
コトウ ヨシカ 後藤 義隆	男	1912 1995	忍野村	忍野村	『中部地方の石の民俗』 『山梨日日新聞』 『忍野村史増補版第1巻』	歴史・地理 社会科学	山梨郷土研究会理事 日本民俗学会理事 忍野村文化財審議会長 (『山梨日日新聞』) 『忍野村史増補版第1巻』 中村星湖賞特別賞受賞 (山梨日日新聞)	『南中部の葬送墓制』 (明玄書房、1973) 『鳴沢の太々神楽』 (鳴沢村教育委員会、1982) 『雪の民俗とところどころ』 (明玄書房、1987) 『中部地方の石の民俗』 (明玄書房、1987) 『富士北麓・忍野の民話と民謡』 (郷土出版社、1995)	『中部地方の石の民俗』 (明玄書房、1987) 『富士北麓・忍野の民話と民謡』 (郷土出版社、1995) 『山梨日日新聞』(1995.10.12、8面、12.13、17面、) 『忍野村史増補版第1巻』 (忍野村、2021、p1158)	2024/10/24	おしの
コナガザワ サヨコ 小中沢 小夜子	女	1933 	甲府市	甲府市	『山梨のおんな』	文学	1941年一家で満州開拓団に参加。1945年、末の妹美代子さんを現地の中国人に預ける。1946年、一家は日本へ帰国。1972年以降、生き別れの妹を探す活動を開始。早乙女勝元氏のすすめにより『妹』を執筆。1986年妹と再会を果たす。 (『山梨のおんな』)	『妹 中国残留孤児をさがして』(金の星社、1989)	『山梨のおんな』(東洋インターフェイス、1986、p307~330)	2025/1/11	韭崎

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
コハヤシ アタル 小林 中	男	1899 1981	源村	南アルプス市	『山梨百科事典』 『山梨県人物・人材情報リスト 2021』	産業	日本財界の重鎮 (『山梨百科事典』) 実業家、財界人 アラビア石油相談役 日本開発銀行初代総裁 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) 日本の戦後復興を牽引した「財界四天王」のひとり (『東ハメモリーズこんなひとがいた。』) 石和町市部の屋敷跡を小林公園として 開放、銅像がある(『山梨百科事典』)		『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p385) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日 外アソシエーツ、2020、p115) 『東ハメモリーズこんなひとがいた。』 (東八代広域行政事務組合、2002、 p125～138) 『寡黙の巨星』(阪口昭著、日本経済新 聞社、1985) 『不屈のリーダー・小林中の一生』(財界 研究所、2023) ほか	2024/11/8	石和
コハヤシ イチゾウ 小林 一三	男	1873 1957	河原部村	韮崎市	『山梨県人物人材情報リスト 2019』 『韮崎市誌』	社会科学 産業	実業家、政治家。 阪急グループ創始者、東宝社長、商工 相。 1893年、三井銀行入社、1907年退行。 1912年、宝塚唱歌隊を結成、1914年、 宝塚少女歌劇団に発展。発足当初の脚 本の多数を手がける。 1927年、阪神急行電鉄社長に就任。 1943年、東宝を設立。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』) 1890年、山梨日日新聞に連載小説『練 糸痕』両毛新聞に『お花団子』を書い た。 阪神急行電鉄の経営に乗り出し、今太 閤と呼ばれた。 生家小林家は宝塚に記念館として移築 され、跡地は韮崎市に寄付された。 (『韮崎市誌』)	『小林一三全集』(ダイヤモンド社、1961) 『逸翁自叙伝』(産業経済新聞社、1953) 『私の行き方』(阪急電鉄、2000) 『奈良のはたごや』(岡倉書房、1933) 『新茶道』(文芸春秋新社、1951) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日 外アソシエーツ、2018、p9) 『韮崎市誌・中巻』(韮崎市、1978、 p713) 『韮崎市誌・下巻』(韮崎市、1979、 p428) 『小林一三世界の伝記NEXT』(集英社、 2013) 『小林一三』(岩崎書店、2018) 『小野金六と小林一三～宿場町・韮崎 から羽ばたいた大実業家～』 (韮崎ふるさと偉人研究会、2023)	2024/11/14	韮崎
コハヤシ カズエ 小林 一枝	女	1933 2011	千葉県	千葉県	『美し、やまなし、パワー！』	芸術・ス ポーツ	洋画家。 山梨大学で洋画を学び、卒業後は教員 を務めながら、峡北美術協会に出品を 始め、1955年に会員となる。 1959年、山梨美術協会会員に推挙され る。 1959年、二科展で初入選。 その後創元展に出品を始め、1979年初 入選、1981年船岡賞受賞、1994年会員 推挙。 1992年、山梨美術協会永年会員。 晩年は副会長も務めた。 (『美し、やまなし、パワー！』)	『小林一枝』(芸術出版社、2014) 『美し、やまなし、パワー！』(山梨県立 美術館、2016、p40～42)	2024/11/1	韮崎	

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ典拠	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
コバヤシ コウジ 小林 宏治	男	1907 1996	初狩村	大月市	『自助・小林宏治追想録』	産業	元日本電気株式会社名誉会長相談役。 1929年、東京帝国大学(現東京大学) 工学部電気工学科卒業後、日本電気株 式会社入社。 1982年大月市名誉市民。 1983年山梨県政特別功績者表彰。 1987年勲一等旭日大綬章受章。 1990年日本電気株式会社名誉会長相 談役。 1996年叙正三位(追贈)。 (『自助・小林宏治追想録』)	『コンピュータ時代への挑戦』(実業之日 本社、1968) 『70年代の経営課題』(ダイヤモンド社、 1971) 『C&Cは人間性を目指す』(ダイヤモンド 社、1992) ほか	『自助・小林宏治追想録』(日本電気株 式会社小林宏治追想録編集委員会、 1997、顔写真あり) 『小林宏治私の履歴書』(日本経済新聞 社、1988) 『大月人物伝』(日本ステンレス工業株 式会社、2008、p100～105、顔写真あ り) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日 外アソシエーツ、2010、p154～156)	2024/11/26	大月
コバヤシ シゲヨシ 小林 茂義	男	1903 1984	賑岡村	大月市	『鳩人・小林茂義八十年の事跡』	産業	東鳩東京製菓(現・東ハト)創業者。 1937年大月町会議員就任。 1947～1951年大月町長に就任。 1952年東鳩東京製菓株式会社設立、 取締役社長就任。 1963年全日菓連理事長就任。 1978年大月市名誉市民。 1984年従四位叙位。 (『鳩人・小林茂義八十年の事跡』)		『鳩人・小林茂義八十年の事跡』(東鳩 東京製菓、1985、顔写真あり) 『山梨百科事典 増補改訂版』(山梨日 日新聞社、1989、p387) 『大月人物伝』(日本ステンレス工業株 式会社、2008、p106～109、顔写真あ り) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日 外アソシエーツ、2010、p157)	2024/11/26	大月
コバヤシ シンイチ 小林 信一	男	1908 1983	塩山市	甲州市	『山梨百科事典』 『小林信一の生涯』	社会科学	教育家・政治家 1948年山梨県教職員組合執行委員長 1949年衆議院議員当選 (『小林信一の生涯』)		『小林信一の生涯』(小林信一先生追悼 集出版実行委員会、1984) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p387)	2025/2/28	塩山
コバヤシ ハル 小林 波留	男	1929 2011	下部町	身延町	『山住雑記』 『波留先生を偲びて』 『山梨日日新聞』	文学	俳人。本名、春利。 東京繊維専門学校卒業後、山口青柳に 師事、「夏草」に入会。 1957年、雑誌「幹」主催。 1962年、毎日新聞俳壇賞、1972年、俳 人協会賞など受賞。 1973年より甲府刑務所篤志面接委員俳 句指導担当。 2005年、『続山住雑記』で第6回私の物 語・山梨自分史大賞最優秀賞を受賞。 (『山住雑記』『山梨県人物・人材情報リ スト2011』)	『山家三戸』(小林波留、1979) 『山住雑記』(幹の会、1982) 『小林波留集』(俳人協会、2003) 『平民』(小林波留、2007) 『鑑賞俳句山居雑筆』(幹の会、1984) 『微笑仏』(幹の会、1986) 『天上』(角川書店、1999) 『続山住雑記』(山梨日日新聞社、 2005)	『山住雑記』(幹の会、1982、奥付) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日 外アソシエーツ、2011、p159) 『波留先生を偲びて』(波留先生句碑建 立・追悼句文集実行委員会、2011、本 文) 『山梨日日新聞』(2005.9.23./11面、 2011.5.25./11面、2011.8.10./10面、 2011.12.11./16面、2012.1.13./10面)	2024/11/30	身延
コバヤシ ハルオ 小林 治雄	男	1925 2010	田富町	中央市	『山梨県人物・人材情報リス ト2007』 『毎日新聞』	芸術・ス ポーツ	漫画家。 文芸春秋漫画賞、紫綬褒章受章。 (『山梨県人物・人材情報リスト2007』) 毎日新聞(1954～1990年)に「ヒトケテ漫 画」を連載。	『ヘイユウ!さらばG!グラフィティ』(まほろ ば書房、1998)	『山梨日日新聞』(1998.10.18、8面) 『山梨県人物・人材情報リスト2007』(日 外アソシエーツ、2007、p121) 『毎日新聞』(2010.1.26)	2024/8/21	田富
コバヤシ ヒサシ 小林 久	男	1962 	韭崎市	韭崎市	『こうして店は潰れた』	産業	経営者。 株式会社やまと元代表取締役社長。 1912年創業の「スーパーやまと」三代目 社長として育ち、韭崎高校卒。39歳で代 表取締役社長に就任。民生分野では県 の教育委員長も務め、学校等で講演会 は300回を超える。 (『こうして店は潰れた』)	『こうして店は潰れた』(商業界、2018) 『続・こうして店は潰れた』(同文館出 版、2020)	『こうして店は潰れた』 (小林久、商業界、2018、奥付) 『いつだってこんなリーダーが組織を蘇 らせる』 (日経BP社、2014、p79～87)	2025/1/12	韭崎

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
コバヤシ ヒビキ 小林 響	女	1969 	甲府市	甲府市	『山梨日日新聞』 『山梨県人物・人材情報リスト 2023』	芸術・ス ポーツ	バイオリニスト。 カナダ・モンクトン大学教授。 A・リュブラン弦楽四重奏団に参加 (1997年にCD発売)。 第21回野口賞芸術・文化部門受賞。 (『山梨日日新聞』) モンクトン大学教授。第21回野口賞 (H9)ジュネス・ミュージカル賞(H10)、 ルーヴン音楽コンクール第1位。 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』)		『山梨日日新聞』(1995.5.30、12面、 1997.7.5、27面、2007.9.27、11面、 2022.8.6、13面、顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日 外アソシエーツ、2022、p502)	2024/9/18	甲府
コバヤシ フミコ 小林 ふみ子	女	1973 	楯形町	南アルプス市	『山梨日日新聞』	社会科学 文学	山梨県生まれ 法政大学文学部教授。 狂歌を中心に江戸の文芸・文化を研 究。 『大田南畝』(岩波書店、2014)	『江戸見立本の研究』(汲古書院、 2006) 『富士山と日本人の心性』(岩田書院、 2007) 『天明狂歌研究』(汲古書院、2009) 『大田南畝』(岩波書店、2014) 『日本人は日本をどうみてきたか 江戸から見る自意識の変遷』 (笠間書院、2015) 『書物学9』(勉誠出版、2016)	『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日 外アソシエーツ、2022、p218) 『山梨日日新聞』(2014.9.12、14面)	2024/11/12	楯形
コバヤシ フミコ 小林 史子	女	1917 2011	甲府市	甲府市	『やまなし・女性の文学』	文学	詩人。 1973～1990年までの17年間山梨日日 新聞の「読者文芸欄」で詩の選者をつと める。 1990年、詩誌「交響」を創刊、編集・発 行人となる。 (『やまなし・女性の文学』)	『交響』(地方書院、1959) 『薔薇色の誅歌』(三雅房、1987) 『風の中の遁走曲』(三雅房、1988)	『開館十周年記念展 I やまなし・女性の 文学』(山梨県立文学館、1999、p44) 『山梨日日新聞』(2011.11.11、25面) 『山梨日日新聞』(2011.12.10、14面顔写 真あり)	2024/9/18	甲府
コバヤシ マサヒデ 小林 雅英	男	1974 	大月市	大月市	『山梨県人物・人材情報リスト 2011』 BASEBALL COACHホーム ページ	芸術・ス ポーツ	元プロ野球(大リーグ)選手投手。 都留高校-日本体育大-東京ガス。 千葉ロッテマリーンズ(ドラフト1位)-米 国大リーグクリブランド・インディア ンズ-読売ジャイアンツ-オリックス・バファ ローズ。 2002年33試合連続セーブの日本新記 録を樹立。 2004年アテネ五輪野球代表。 2006年史上3人目の200セーブ達成。 2011年現役引退。 2012～14年オリックス・バファローズ2 軍育成担当コーチ。 2015～18年千葉ロッテマリーンズ1軍投 手コーチ。 2019年女子プロ野球リーグ投手総合 コーチ。 2021～2024年エイジエック硬式野球部 投手総合コーチ (『山梨県人物・人材情報リスト2011』、 BASEBALL COACHホームページ)		『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日 外アソシエーツ、2010、p161～162) 『大月人物伝』(日本ステンレス工業株 式会社、2008、p131～134、顔写真あ り) BASEBALL COACHホームページ https://baseball-coach.jp/ (2024/11/26確認)	2024/11/26	大月

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
コバヤシ ヨシツ 小林 喜光	男	1946 	楯形町	南アルプス市	『山梨県人物・人材情報リスト 2023』	産業	東京電力ホールディングス会長 元経済同友会代表幹事 理学博士。 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』)	『KAITEKI化学』8阪急コミュニケーションズ、2010 『地球と共存する経営』(日本経済新聞 出版社、2011) 『危機に立ち向かう覚悟』(化学工業日 報社、2013) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日 外アソシエーツ、2022、p130) 『山梨日日新聞』 (2007.2.25、9面、2007.6.12、7面、 2012.5.15、8面、2015.4.27、2面、 2016.3.9、7面、2018.1.8、3面、 2018.3.5、6面、2018.4.13、7面 2018.11.2、9面、2018.11.17、6面、 2018.11.20、2面、2019.4.17、8面、 2019.5.2、4面、2020.7.1、特集35面、 2020.8.9、1面、すべて顔写真あり)	2024/11/12	楯形
コマキ ヤスノブ 小牧 康伸	男	1954 	甲府市	甲府市	『ホテル・レストランのサービスと マナー』	技術 産業	1975年帝国ホテル入社。日本ソムリエ 協会の第1回ソムリエ認定試験、同シニ アソムリエ認定試験に合格。在職中飲 料サービス士1級、西洋料理テーブルマ ナー講師、ならびに唎酒師の資格を取 得。 現在は、北杜市小淵沢町にある小牧 ヴィンヤードオーナー。 (『ホテル・レストランのサービスとマ ナー』、『甲州・信州のちいさなワイナ リーめぐりプレミアム』)	『ホテル・レストランのサービスとマ ナー』 (キクロス出版、2004)	「時標」 (山梨日日新聞、2007.6.30、p2) 『ホテル・レストランのサービスとマ ナー』 (キクロス出版、2004、奥付) 『甲州・信州のちいさなワイナリーめぐり プレミアム』 (G.B.、2018、P84-85) 小牧ヴィンヤードホームページ https://komaki-vineyard.com (2024.9.16確認)	2025/1/5	小淵沢
コマツ トウヘイ 小松 導平	男	1878 1938	御代咲村	笛吹市	『山梨百科事典』	産業	笛吹川麿河川跡の開拓者 1907年の大洪水後、旧笛吹川麿河川 跡の開墾を進め、その後の石和果樹地 帯形成の基となる。 (『山梨百科事典』『石和町誌2』)		『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p395) 『石和町誌2』(石和町、1991、p352~ 357) 『小松導平開拓伝』(加々美謙著、小松 安則、1972)	2024/11/8	石和
ゴミ シヤチョウ 五味 酒蝶	男	1901 1962	甲府市	甲府市	『山梨県人物・人材情報リスト 2023』	文学	俳人。 本名、五味英之助。 飯田蛇笏に師事。俳句誌「雲母」に所 属。 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』)	『酒蝶句集』(雲母社、1964)	『山梨日日新聞』(2000.10.5、12面顔写 真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日 外アソシエーツ、2022、p332)	2024/9/18	甲府
ゴミ タイヘイ 五味 泰平	男	1935 	山梨県	甲斐市	『五味泰平画集 ふるさと峡北の山里を描く』	芸術・ス ポーツ	元北巨摩郡双葉町教育委員長 元峡北美術協会会長 日展に「鉄工場・残影」で初入展(2006) 山梨県文化賞奨励賞を受賞(2008) 秋の叙勲にて瑞宝双光章を受賞 (2014) 日展に「旧道の町」が入展(2017) (『五味泰平画集 ふるさと峡北の山里を描く』) 光風会展初入選(2019) 青樹会代表	『五味泰平画集 ふるさと峡北の山里を描く』(五味泰平、 2021)	山梨日日新聞(2001.11.1、11面) 山梨日日新聞(2013.6.14、15面) 『五味泰平画集 ふるさと峡北の山里を描く』(五味泰平、 2021、91p~101p)	2024/11/1	双葉

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ゴミ フミコ 五味 文彦	男	1946 	甲府市	甲府市	『中世の身体』 『山梨日日新聞』	歴史・地理	放送大学名誉教授。東京大学名誉教授。 日本中世史専攻。文学博士。 1991年『中世のことばと絵』が第5回中村星湖文学賞、サントリー学芸賞(芸術・文学部門)受賞。 2004年『書物の中世史』が第26回角川源義賞(歴史研究部門)受賞。 2016年『現代語訳吾妻鏡』が第70回毎日出版文化賞(企画部門)受賞。 2024年、文化功労者に選ばれる。 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』) (『順徳院と日蓮の佐渡』) (『山梨日日新聞』)	『院政期社会の研究』(山川出版社、1984) 『吾妻鏡の方法』(吉川弘文館、1990、2000、2018) 『中世のことばと絵』(中央公論社、1990) 『書物の中世史』(みすず書房、2003) 『源義経』(岩波書店、2004) 『中世の身体』(角川学芸出版、2006) 『現代語訳吾妻鏡』1～16、別巻(吉川弘文館、2007-2016) 『鎌倉時代論』(吉川弘文館、2020) 『疫病の社会史』(KADOKAWA、2022) 『順徳院と日蓮の佐渡』(山川出版社、2023) 『明日への日本歴史』1-4(山川出版社、2023) ほか	『山梨日日新聞』(2004.12.12、5面、顔写真あり、2005.7.1、50面、顔写真あり、2024.10.26、24面、顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日外アソシエーツ、2022、p219) 『順徳院と日蓮の佐渡』(山川出版社、2023、奥付)	2024/10/26	県立
コムラ フキコ 小村 明子	女	1971 	東京都	東京都	『山梨日日新聞』 『日本とイスラームが会おうとき』	哲学・宗教	甲府西高校卒業。 都留文科大学卒業。 上智大学グローバル・スタディーズ研究科地域研究専攻博士後期課程学位取得満期退学、博士(地域研究)。 上智大学アジア文化研究所客員所員。	『日本とイスラームが会おうとき』(現代書館、2015) 『日本とイスラーム』(朝日新聞出版、2019)	『日本とイスラームが会おうとき』(現代書館、2015、奥付) 『山梨日日新聞』(2015.11.6、15面顔写真あり、2017.3.4、9面) 『小村明子Official Web Site』 (https://komuraakiko.wixsite.com/salam/aboutme 、2024.11.25確認)	2024/11/25	竜王
コモリ トヨスケ 古守 豊甫	男	1920 2008	甲府市	甲府市	『山梨県人物・人材情報リスト2000』 『山梨日日新聞』	自然科学・医学	医師 日本医師会最高優功賞受賞 長寿研究者 (『山梨日日新聞』)	『長寿村桐原』(三瀧社、1975) 『長寿村・短命化の教訓』(樹心社、1986) 『長寿村回診記』(社会保険出版社、1994) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2000』(日外アソシエーツ、2000、p156) 『山梨日日新聞』(2008.1.26、17面顔写真あり)(2008.12.23、13面顔写真あり)	2024/11/12	上野原
コヤ チュウ 小屋 忠子	男	1888 1949	双葉町	甲斐市	『山梨百科事典』	自然科学・医学 芸術・スポーツ	歯科医師。 1919年、韮崎市に歯科医院開業。 早くから山岳の開発に志し、1924年白鳳会を創立して初代会長となる。 1928年、名付け親となった「甲州縁故節」を平賀文男らと初放送。 県水産業会を創設、初代会長に推され淡水魚の振興を図った。 (『山梨百科事典』)		『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p400) 『郷土史にかがやく人びと第20集』(青少年山梨県民会議、1995、p73)	2024/11/1	韮崎

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ゴンダ タシ 権太 政	男	1849 1910	甲府市	甲府市	『山梨百科事典』 『郷土史にかがやく人々第4集』 『甲府市史 市制施行以後』	社会科学	教育家。 1874～1882年長崎県に赴任。 1882年に甲府小学校長、1906年病により辞職。墓所は仏国寺。 甲府市立富士川小学校校庭に遺徳碑がある。(『山梨百科事典』) 旧琢美小の校長時代に私費を投じて学校図書館「権太文庫」を開設。のちに甲府通俗図書館に収められた。 (『山梨日日新聞』) 1907年9月加藤平四郎市長より彰功状を授与される。 (『甲府市史 市制施行以後』)		『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p403～404) 『郷土史にかがやく人々第4集』(青少年のための山梨県民会議、1971、p27～54) 『山梨日日新聞』(1995.9.10、16面) 『権太先生追悼詞集』(山梨県甲府市小学校男子女子同窓会、国立国会図書館デジタルコレクション、永続的識別子「info.ndjip/pid/910161」インターネット公開保護期間満了) 『甲府市史 市制施行以後』(甲府市史刊行委員会、1964、p953～957顔写真あり)	2024/9/19	甲府
コトウ カジ 近藤 寛治	男	1859 1931	南部町	南部町	『南部地区における明治の群像』	社会科学	私塾「蒙軒学舎」に学ぶ。 1883年、東京帝国大学医学部卒業。 1891年、公立睦合病院院長として24年間勤務。 1915年、県会議員となる。県政の立場から医療行政を推進。 (『南部地区における明治の群像』)		『南部町誌』(南部町、1964、p867) 『改訂南部町誌下巻』(南部町、1999、顔写真あり、p422) 『南部地区における明治の群像』(渡辺修孝著、渡辺修孝、2000、p1～)	2024/12/3	南部
コトウ コウイチロ 近藤 浩一路	男	1884 1962	南部町	南部町	『山梨百科事典』	芸術・スポーツ	東京美術学校西洋学科卒業。和田栄作に師事。 1907年、白馬会展に入選。 1910年、第4回文展入選。1919年第6回院展に「朝の日」「夕の日」「霧」の3点が入選。代表的日本画家となる。 (『近藤浩一路作品集』)	『柿腸』(近藤浩一路、1934) 『漫画 坊ちゃん』(近藤浩一路、岩波書店、2017) 『漫画 吾輩は猫である』(近藤浩一路、岩波書店、2017)	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p404) 『近藤浩一路作品集』(近藤浩一路記念南部町立美術館、2000、顔写真あり) 『コンサイス日本人名事典』(三省堂2004、p565) 『趣味の水墨画』(日本美術教育センター、2006年9月号、p1) 『光の水墨画近藤浩一路の全貌』(山梨県立美術館、2006) 『漫画家が見た百年前の西洋 近藤浩一路『異国膝栗毛』の洋行』(和田博文、筑摩書房、2024)、他。	2024/12/3	南部
コトウ チナル 近藤 ちはる	女	1978 	甲府市	甲府市	『山梨日日新聞』 『デザインノート』	芸術・スポーツ	グラフィックデザイナー。 2005年JAGDA新人賞最年少受賞。 2007年甲府市民文化奨励賞最年少受賞。 広告等商業デザインから映画・演劇等ポスターを製作。 映画「大奥」のデザイナースタッフとして活躍。 (『山梨日日新聞』) 2002年ウルトラグラフィックスに入社。LAWSON「週刊ローソン」「おにぎり屋」「からあげクン」、NTT東日本「0036」キャンペーンなどの商業・広告デザインをはじめ、ドラマ、映画、劇団関連のポスター・パンフレット、パッケージデザインなど幅広く手掛けている。 (デザインノートNo.33)		『山梨日日新聞』(2005.6.26、9面、顔写真あり、2006.3.12、16面、顔写真あり) 『MUH』vol.38(早野グループ「MHU」編集室、2008年4月、p1～3) 『デザインノートNo.6』(誠文堂新光社、2006、p118～119) 『デザインノートNo.33』(誠文堂新光社、2010、p74～81)	2024/9/19	甲府

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ゴンドウ ハナヨ 権藤 はなよ	女	1899 1961	穴山村	韮崎市	『韮崎の礎を築いた偉人たち』 「韮崎市観光協会」ホームページ	文学	童謡詩人。 山梨師範学校を卒業後、2年間母校で 教師を務める。 児童文学に触れ上京、野口雨情の指導 を受ける。 1933年、女性初の童謡詩集『雪こんこ お馬』を出版。 1940年、文部省から国民学校教科書の 作詞を依頼され、翌年発行『うたのえほ ん下』(2年生用)に「たなばたさま」と「は ねつき」が掲載。伊藤生更の妹。 (『韮崎の礎を築いた偉人たち』) 穴山町では、公民館など全9箇所に権 藤はなよが作詞した童謡を刻んだ詩碑 を建立。 (「韮崎市観光協会」ホームページ)	『雪こんこお馬』(大空社、1996)	『韮崎の礎を築いた偉人たち・第2巻』 (韮崎ふるさと偉人研究会、2018、p20) 「韮崎市観光協会」ホームページ https://www.nirasaki-kankou.jp/kankou_spot/kouen_bijyutsukan_shiryokan/kouen_teien/4329.html (2025.01.11確認) 「穴山町だより」第158号(穴山町公民館 編集委員会、2013、p2) 『古里・穴山を詩う』(伊藤まなみ、権藤 はなよ詩碑建設委員会、2013) 『権藤はなよの世界』 (穴山公民館、2014)	2025/1/11	韮崎
ゴンドウ ヨシノリ 近藤 喜則	男	1832 1902	南部町	南部町	『山梨百科事典』	社会科学	義立南部病院設立。 私塾「蒙軒学舎」の設立。 山梨県の区長総代理。 山梨県初代県議会議長。 物産会社殖産社設立。 1891年、緑綬褒賞を受ける。山梨県へ のキリスト教伝道のきっかけをつくる。 (『山梨百科事典』)	『一家小傳』(南部町教育委員会内歴史 資料室、2023)	『郷土史にかがやく人々』集合編青少年 のための山梨県民会議、1974、p123顔 写真あり)『山梨百科事典』(山梨日日 新聞社、1989、p404) 『改訂南部町誌下巻』(南部町、1999、 p396～540顔写真あり) 『南部地区における明治の群像』(渡辺 修孝著、渡辺修孝、2000、p8) 他。	2024/12/3	南部